

目 次

目 次	… … …	1
I. 2010(平成22)年度の主な活動	… … …	3
*2010(平成22)年度入館者一覧	… … …	4
II. 資料の収集・利用	… … …	5
II-1 資料の収集	… … …	5
1) 受 贈	… … …	5
2) 寄 託	… … …	5
II-2 資料の利用	… … …	6
1) 貸 与	… … …	6
2) その他	… … …	6
III. 展示活動	… … …	7
III-1 常設展示	… … …	7
1) 歴史展示	… … …	7
2) 美術・工芸展示	… … …	9
3) その他館内展示物	… … …	9
III-2 特別展示	… … …	10
1) 自主企画展	… … …	10
2) 共催展等	… … …	12
*2010(平成22)年度特別展一覧	… … …	17
3) 京都府民ギャラリー事業への協力	… … …	17
III-3 映 画	… … …	18
1) 常設上映	… … …	18
2) 特別企画・共催事業	… … …	18
3) 映像ギャラリー常設展示	… … …	21
4) 京都府映像文化センター運営委員	… … …	21
III-4 その他	… … …	22
IV. 調査研究活動	… … …	23
IV-1 学芸員の活動	… … …	23
1) 研 究	… … …	23
2) 出講・委嘱	… … …	23
3) 業 績	… … …	24
V. 普及活動	… … …	27
V-1 出版物	… … …	27
1) 研究紀要『朱雀』	… … …	27
2) 年 報	… … …	27
3) 展覧会図録	… … …	27

V-2	講演会・音楽会	… … … …	28
	1) 講演会など		… 28
	2) 音楽会		… 29
V-3	資料・情報公開	… … … …	31
	1) 資料閲覧室		… 31
	2) 文化情報コーナー		… 31
	3) ホームページによる広報とコンテンツの提供		… 31
V-4	学習普及活動	… … … …	32
	1) 「ぶんぱく子ども教室」事業		… 32
	2) 生涯学習ボランティア		… 33
	3) 団体見学案内		… 34
V-5	外部連携活動	… … … …	35
	1) 他館との連携		… 35
	2) 地域との連携		… 35
V-6	博物館実習	… … … …	38
V-7	京都文化博物館友の会	… … … …	39
	1) 会 員		… 39
	2) 事業概要		… 40
VI.	ギャラリー事業	… … … …	41
VI-1	5・6階展示室	… … … …	41
	1) 京都文化財団展示室運営委員会		… 41
	2) 美術・工芸作家の利用		… 41
	3) 生涯学習的発表期間の利用		… 42
	4) 一般の利用		… 43
VI-2	別館ホール	… … … …	44
VII.	管理・運営	… … … …	45
VII-1	組織と職員	… … … …	45
	1) 組 織		… 45
	2) 京都文化財団		… 45
	3) 京都文化博物館		… 46
VII-2	施 設	… … … …	47
	1) 本館関係		… 47
	2) 別館関係		… 47
VII-3	館内店舗	… … … …	48
	1) ろうじ店舗		… 48
	2) 別館店舗		… 48
	3) 博和会・ろうじ行事		… 48
VIII.	2010(平成22)年度のあゆみ	… … … …	49

※本文および表中の敬称は略させていただいた。

I. 2010(平成22)年度の 主な活動

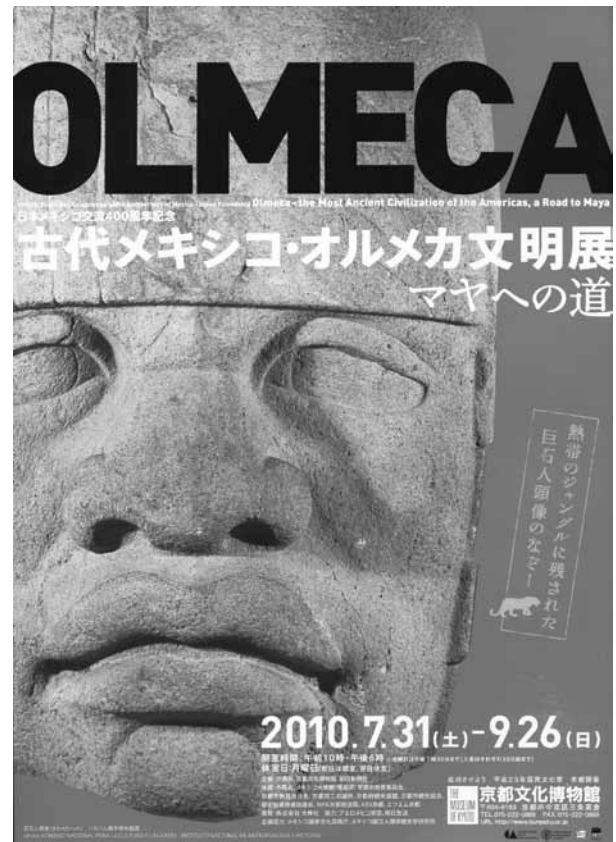
2010年度は、長年の懸案であった常設展示室等のリニューアル工事が、2011年7月上旬の完成を目指して着手される年となった。前年度に示された実施設計図を基本としつつ、博物館職員の意見も反映される形で工事は進められることとなったが、一方で再開館後の絵姿を想定しながら、館内において進められてきた今後の運営のあり方についての議論についても集約が図られることとなった。博物館の運営については、本格的工事が始まる12月上旬から7か月余の休館を余儀なくされることとなったが、工事の直前まで特別展をはじめ博物館の活動はフルに展開された。この結果、この年度内の経営期間は8ヶ月あまりであったが、特別展の入場者は前年度(22万8千人)にほぼ匹敵する22万1千人に達するなど、全体として厳しかった前年度と比較してやや回復基調の中で休館に入ることとなった。休館の間は、工事の安全・円滑な施行を図るため、執務室を一時的に別館ホールに移し、職員全員が同じフロアで準備業務を進めることとなった。

また、当年度は、京都府の指定管理者制度下での運営が3年目(1期目の最終年度)を迎えたが、京都府からは単独指定の形で次年度から引き続き3年間の運用が認められたところである。

今年度の自主企画展としては7月31日から9月26日まで「古代メキシコ・オルメカ文明展—マヤへの道」を開催した。これは、日墨友好400年を記念して開催。新大陸の最古の文明であるオルメカからマヤに至る最新の研究成果をもとに、巨石人頭像や輝くヒスイ製品など日本初公開となる約130点の資料を紹介した。同展の入館者数は38,284人であった。

2010年度特別展の総入場者数は、221,368人、常設展の入場者数は29,186人であり、貸ギャラリー、ろうじ店舗の入場者も含めた総入館者数は526,842人であった。

映画部門においては、昨年度に引き続き今年度も京都府所蔵フィルムの上映に加えて、映画フィルムの復元、若手映画作家の養成、子ども向け映画講座を、産学連携の手法を採り入れて充実させ



「古代メキシコ・オルメカ文明展」ちらし

てきた。映画フィルムの復元では大阪芸術大学等と連携してフィルム保存・復元ワークショップを開催、若手映画作家育成に関しては東映京都撮影所、松竹京都撮影所、ドイツ文化センター等と連携し時代劇制作ワークショップを開催した。そのほか京都の映画文化普及拠点としての役割を果たすべく外部との連携をすすめている。

＊2010(平成22)年度入館者一覧

年 月	常設展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
2010.4	1,838	1,464	3,302	9,762	6,723	16,485	11,600	8,187	19,787	1,950	5,223	488	7,661	27,448
5	2,193	1,831	4,024	18,824	12,192	31,016	21,017	14,023	35,040	8,931	1,782	6,149	16,862	51,902
6	1,582	1,553	3,135	24,378	12,364	36,742	25,960	13,917	39,877	5,784	2,980	15,258	24,022	63,899
7	2,345	1,496	3,841	28,467	15,057	43,524	30,812	16,553	47,365	2,682	2,764	8,467	13,913	61,278
8	1,578	1,207	2,785	10,751	6,180	16,931	12,329	7,387	19,716	2,190	1,167	1,837	5,194	24,910
9	1,850	1,285	3,135	10,884	9,573	20,457	12,734	10,858	23,592	2,157	4,590	25,769	32,516	56,108
10	2,248	1,927	4,175	9,917	7,560	17,477	12,165	9,487	21,652	5,202	4,980	4,895	15,077	36,729
11	1,095	1,831	2,926	14,741	14,495	29,236	15,836	16,326	32,162	1,409	8,103	5,968	15,480	47,642
12	0	1,863	1,863	4,361	5,139	9,500	4,361	7,002	11,363	0	2,555	850	3,405	14,768
2011.1	—	—	0	—	—	0	0	0	0	—	—	—	0	0
2	—	—	0	—	—	0	0	0	0	—	—	—	0	0
3	—	—	0	—	—	0	0	0	0	—	—	—	0	0
年度計	14,729	14,457	29,186	132,085	89,283	221,368	146,814	103,740	250,554	30,305	34,144	69,681	134,130	384,684
1日平均	69	67	136	755	510	1,265	683	483	1,165					1,613

Ⅱ. 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立総合資料館所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料(博物館資料)をいう。これらの資料については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を総合資料館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行うとともに、収集・利用等についても、その業務を当館で行ってきている。

なお、2010年度末での管理資料は51,738点、寄託資料が330点、一時保管資料が715点であった。

Ⅱ - 1 資料の収集

1) 受 贈

【管理資料】

番 号		資料名	点 数	
日本画	久保嶺爾	「霽」ほか	4	
陶磁器	伊東 慶	白磁「湖映」壺	1	
民 具		「樽・桶製作道具 一式」雁頭鋸ほか	207	
版 画	浅野竹二	「自刻自摺木版画 京洛工匠図絵」ほか	2	
漆 芸	望月重延	「球莖」ほか	4	
日本画	岩澤重夫	「堰」	1	
陶磁器	伊東 慶	「あじさい」ほか	2	
日本画	堂本元次	「白壁の土蔵」ほか	87	
染 織	麻田脩二	「軌 A」ほか	7	
染織・人形		五節舞衣裳一式ほか	3	
染 織		着物（紅綸子地菊模様振袖）ほか	2	
陶磁器	市川廣三	「蒼釉陶器」ほか	13	
陶磁器	竹中 浩	「金銀彩梅文筆管」ほか	5	
日本画	曲子光男	「浄雪」ほか	5	
洋 画	齋藤眞成	「広場（スペイン）」ほか	5	
染 織		「依屋宗達の風神雷神図」ほか	6	
日本画・書		足立家伝来書画資料 一式	25	
				小計 17件 379点

2) 寄 託

種 別	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	小 計
館 資 料	日本画	3件 3点	古文書	24件 26点	典 籍	20件 233点	絵 図	18件 20点	複製模本	1件 1点	156件 795点
	貴重遺物	83件 501点	一般遺物	2件 6点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	歴 史	1件 1点	
管理資料	日本画	5件 15点	陶 器	1件 89点	民 俗	3件 221点	武 具	1件 4点	染 織	1件 1点	11件 330点
	歴 史	0件 0点									

II-2 資料の利用

1) 貸 与

【館資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的（展覧会名）
考古	複弁蓮華文瓦／唐草文瓦	2	向日市文化資料館	常設展示
考古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	吹田市博物館	常設展示
考古	緑釉軒丸瓦／緑釉軒平瓦／緑釉鷗尾片	3	斎宮歴史博物館	特別展「賀茂齋院と伊勢斎宮」

【管理資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的（展覧会名）
歴史資料	坂本龍馬書簡集ほか	2	東京都江戸東京博物館	特別展「龍馬伝」展のため
日本画	秋野不矩「平安神宮」	1	迎賓館京都事務所	4.16～17 クロアチア国会議長一行宿泊接遇のため 4.23 パキスタン・イスラム共和国下院議長一行接遇のため
日本画	「鶴澤探山像」ほか	27	兵庫県立歴史博物館	特別展「彩一鶴澤派から応挙まで」のため
陶磁器	清水卯一「蓬萊波扁壺」	1	迎賓館京都事務所	カンボジア王国 国王一行への公開披露のため
歴史資料	坂本龍馬書簡集ほか	2	高知県立歴史民俗資料館	特別展「龍馬伝」展のため
日本画	祇園井持「二美人図」ほか	4	板橋区立美術館	「江戸文化シリーズ No.26 諸国崎人伝」のため
陶磁器	五代清水六兵衛「音羽焼海鳥文花瓶」ほか	3	独立行政法人 国際交流基金 文化事業部	「近代日本工芸 1900-1930 一伝統と変革のはざまに」のため
日本画、金工	宇田荻郷「嵐山」ほか	2	迎賓館京都事務所	9.2 スペイン王国大統領一行への公開披露のため 9.19 フランス共和国上院議長一行への公開披露のため 10.1～2 ガーナ共和国大統領一行への公開披露のため
日本画	今尾景年「四時花木群蟲図」	1	京都市立芸術大学、京都市美術館、毎日新聞社総合事業局	京都市立芸術大学創立 130 周年記念展「京都日本画の誕生一巨匠たちの挑戦」のため
日本画	池大雅「一富士二鷹三茄子図」ほか	2	和泉市久保惣記念美術館	「数の美術一数えて楽しむ東アジアの美術」のため
版画	田島征彦「幸せな小作人」	1	財団法人 中信美術奨励基金	「第 23 回京都美術文化賞受賞記念展」のため
歴史資料	坂本龍馬書簡集ほか	2	長崎歴史文化博物館	特別展「龍馬伝」展のため
陶磁器	三代清風與平「染付草花模様紅茶碗・皿」ほか	4	愛知県陶磁資料館	「明治の人間国宝一帝室技芸員の技と美 清風與平・宮川香山から板谷波山まで」のため
日本画	幸野棟嶺「魯秋潔婦図」	1	一宮市博物館	一宮市立玉堂木曾川図書館 第 10 回川合玉堂展「玉堂の学んだ京都画壇」のため
陶磁器、風俗	陶磁器「色絵笙形掛花入」ほか	3	岐阜市歴史博物館	「洛中洛外図に描かれた世界」のため
日本画、陶芸	金島桂華「光悦寺」ほか	2	迎賓館京都事務所	11.5 APEC 財務大臣会合一行への公開披露のため 11.16～11.17 モンゴル国大統領夫妻一行への公開披露のため
日本画、陶芸	金島桂華「光悦寺」ほか	2	迎賓館京都事務所	11. 23 カザフスタン共和国下院議長一行への公開披露のため
染織	帷子（白麻地雲菱菊散らし繡文様）ほか	4	奈良県立美術館	館蔵品展「小袖～近世服飾の華」のため
陶磁器	二代伊東陶山「色絵鳳凰置物」	1	迎賓館京都事務所	1.19～1.20 ウクライナ大統領一行への公開披露のため
日本画	池田遙邨「堤」	1	姫路市立美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、倉敷市立美術館、中日新聞社文化事業部	「池田遙邨展（仮称）」のため
洋画	芝田米三「収穫賛歌」ほか	6	芝田藤子	「独立美術京都春季展 特集作家 vol.1 芝田米三」のため
洋画	芝田米三「照る日曇る日」	1	芝田藤子	「独立美術京都春季展 特集作家 vol.1 芝田米三」のため
日本画	池大雅「柳下童子図」	1	府中市美術館	「江戸の人物画一姿の美、力、奇」のため
日本画	渡辺南岳「歌妓図」ほか	6	大和文華館	「開館 50 周年記念特別展！女性像の系譜」のため
日本画	池大雅「蕙石図」ほか	4	東京芸術大学大学美術館	「香り かぐわしき名宝」のため

合計 25 件 84 点

2) その他

分野	撮影	特別観覧	寄託資料一時持ち出し					
			分野	資料名	点数	申請者	使用目的	計
館資料	0件	1件 2点	考古	デンマーク石器コレクション	21	古代学協会	研究	1件 21点
			絵画	上村松園 夕暮	1	東京国立近代美術館ほか	展示	1件 1点
			典籍	大島本源氏物語	4	斎宮歴史博物館	展示	1件 4点
管理資料	43件 67点	13件 90点	民俗	大船鉾用具 御唐櫃ほか	180	四条町大船鉾保存会	展示	1件 180点
			民俗	大船鉾用具 大金幣ほか	85	四条町大船鉾保存会	調査・展示	1件 85点
			民俗	緋緘小札大鑑ほか	4	鞍馬火祭保存会	祭礼	1件 4点

Ⅲ. 展示活動

Ⅲ-1 常設展示

1) 歴史展示

歴史の常設展示は、大きく二つの部分に分けられる。一つは京都の町の歴史の概観的な展示で、平安京以前の京都盆地の姿を示すプロローグに始まり、平安京の誕生から明治・大正までを四つのテーマに分けて展開する。いま一つは、ある時間的な幅のなかでは位置づけることのできない文化事象から、町衆によって育まれてきた京都文化を代表する四つのテーマを選んで展示する集中展示であり、あわせてそれらが繰り返された場としての京都を絵画資料に見るものである。

この歴史の常設展示は、模型や映像・図表を中心に説明的に展開することを原則としているため、実物資料が大変少ない展示となっており、時折不満の声も聞

かれた。その欠を補うという意図もあって、2001年度から歴史展示室の北端に展示ケースを新設して、新たに「特別陳列コーナー」を設けた。ここでは、一定のテーマを設定し、ふさわしい資料を主として館蔵資料と寄託資料の中から選んで展示している。

「特別陳列コーナー」の設置に伴い、スペースの都合上、「国際都市京都」のコーナーと「歴史情報サービス」とは廃止した。それ以外の展示は基本的には大きな変化はないので、ここでは展示替えに関するデータのみを記す。概観展示ならびに集中展示の詳細については『京都文化博物館10年のあゆみ』(1999年)を参照されたい。

Ⅲ-1 常設展示 ▶ 1) 歴史展示

① 特別陳列コーナー

◆ 原在中「西湖図」と竹内栖鳳「群仙図」

～修復事業成果報告をかねて～

概要：江戸時代に装飾的な画風をよくした原在中と、近代日本画の先駆者・竹内栖鳳。修復により面目を一新した屏風の佳品を初公開。

期間：2010年4月6日(火)～5月9日(日)

作品：原在中「西湖図」、竹内栖鳳「群仙図」

担当者：市川 彰

◆ 重要文化財「善女龍王像」

～寄託の優品から～

概要：真言密教の請雨の霊神・善女龍王。平安末期の金剛峰寺本(国宝)を鎌倉時代に転写した京都・大通寺本を展示紹介。

期間：2010年5月11日(火)～6月6日(日)

作品：重要文化財「善女龍王像」(京都・大通寺蔵)

担当者：市川 彰

◆ 八幡山保存会所蔵「光琳百花図屏風」

～京のまちなかの優品～

概要：祇園祭鉾町である八幡山町内の個人宅に所蔵され、京都文化博物館に寄託された六曲一双の屏風を展示。

期間：2010年6月8日(火)～7月4日(日)

作品：「光琳百花図屏風」(八幡山保存会蔵)

担当者：南 博史

◆ 青森県石亀遺跡出土の縄文晩期の遺物

概要：古代メキシコ・オルメカ文明展の関連催事として、オルメカ文明とほぼ同時期である縄文時代晩期の青森県石亀遺跡の出土遺物を展示した。

期間：2010年7月6日(火)～9月20日(月・祝)

作品：粗製深鉢形土器、半粗製鉢形土器、壺形土器、精製皿形土器・鉢形土器、注口土器、岩偶、土偶、石鏃など。

担当者：南 博史

◆ 江戸時代の平安京研究

～大内裏図考証と院宮及私第図～

概要：京都を知りたい。その思いは江戸時代に生きた人々も同じであった。江戸時代の平安京研究として著名な裏松固禪の大内裏図考証や、寝殿造の図を史上最初に掲載した院宮及私第図、さらには伊藤東涯の平安京復元図などを展示し、江戸時代における「平安学」「平安京研究」の世界を紹介した。

期間：2010年9月22日(水)～10月24日(日)

作品：裏松固禪編「大内裏図考証」ほか

担当者：横山和弘

◆古典の日記念 源氏物語と都名所図会

概要：11月1日の古典の日にちなみ、大島本源氏物語(重要文化財)を展示した。あわせて、源氏物語にみえる京の神社仏閣を、江戸時代の都名所図会から紹介した。

期間：2010年10月26日(火)～12月5日(日)

作品：重要文化財 大島本源氏物語のうち、夕顔・若紫・初音ほか

担当者：横山和弘

② 展示替え(概観展示・集中展示)

展示テーマ	展示項目	資料名	点数	展示期間
武者の世に	京に集う	茶器一式(出土品)	8	2003.6.17～2010.12.5
京洛四季	京の商い	煙草入屋看板・生掛屋看板・売薬手提箱・五合枱・一升枱・糸秤 (*)	5	2010.3.16～2010.9.20
		看板・暖簾・算盤箱・一斗枱・天秤 (*)	5	2010.9.22～2010.12.5
古都飛翔	明治の洋食器	染付草花模様紅茶碗・染付草花模様蓋付平鉢(以上、三代清風与平作)／染付草花模様台付盛皿(幹山伝七作)／染付ブドー酒呑(和気亀亭作)／染付草花模様皿(四代高橋道八作)／染付四季花卉模様肉皿(三代清水六兵衛作) (*)	12	2010.3.16～2010.9.12
		染付草花模様砂糖入・染付草花模様蓋付水鉢・染付草花模様蓋付鉢・染付草花模様台付盛皿(以上、幹山伝七作)／染付ブドー酒呑(和気亀亭作)／染付四季花卉模様肉皿(三代清水六兵衛作) (*)	11	2010.9.14～2010.12.5
集中展示	宗家の地	琵琶の家－琵琶・源氏物語絵巻(複製) (**/*)	3	2010.3.16～2010.6.20
		和歌の家－冷泉家七夕色紙・藤原氏系図・角盤 (**/*)	3	2010.6.22～2010.9.20
		蹴鞠の家－蹴鞠他(3点)・関係写本(3件) (*/**)	6	2010.9.22～2010.12.5
	能と狂言	金地夕顔老女扇・紺地蝶丸文鬘帯・紅地苺文鬘帯・鱗文腰帯・紺地雨龍文腰帯(協力：金剛家)	5	2010.3.16～2010.6.27
		狂言面－伯藏主・福の神・延命冠者(協力：茂山家)	3	2010.6.29～2010.9.20
		西王母人物画葛扇・花丸文腰帯・霞鶯文腰帯・紅地秋草文鬘帯・納戸地秋草文鬘帯(協力：金剛家)	5	2010.9.22～2010.12.5
	匠の世界	指物	一式	2010.2.14～2010.5.23
		鋳金具(協力：森本鋳金具製作所／文友会)	一式	2010.5.25～2010.12.5
	京のまつり	祇園祭月鉾模型 (**)	1	2010.3.16～2010.6.20
		祇園祭長刀鉾模型 (*)	1	2010.6.22～2010.9.20
牛祭 紙面 (*/**)		8	2010.9.22～2010.12.5	

※()内の*印の資料は京都府立総合資料館蔵(京都府京都文化博物館管理)、**印の資料は当館蔵

2) 美術・工芸展示

III-1 常設展示 ▶ 2) 美術・工芸展示

①新収蔵記念 伊東慶 陶展 ～白磁に魅せられて～

会 期：2010年6月19日(土)～7月19日(月・祝)

[27日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)、

会 場：3階美術・工芸展示室

入場料：一般500円／大高生400円／高校生以下無料

主 催：京都文化博物館

担当者：洲鎌佐智子

概 要：昨年京都府に寄贈された伊東慶氏の作品33点を紹介。

作品数：陶芸 33点

【作品一覧】

	資 料 名	制作年	(西暦)		資 料 名	制作年	(西暦)
1	「向日葵」蓋物	昭和 18 年	1943	12	濤と波	平成 8 年	1996
2	蒼容	昭和 40 年	1965	13	流	平成 9 年	1997
3	緑容 滉	昭和 44 年	1969	14	線刻壺	平成 10 年	1998
4	蒼 輓風	昭和 45 年	1970	15	春の海	平成 12 年	2000
5	作品－ 71	昭和 46 年	1971	16	潮流	平成 13 年	2001
6	湖映	昭和 50 年	1975	17	樹想	平成 14 年	2002
7	涛風	昭和 54 年	1979	18	蒼穹	平成 15 年	2003
8	汀	昭和 58 年	1983	19	白磁 線	平成 17 年	2005
9	夏雲	平成 3 年	1991	20	華塗「薔薇壺」	平成 18 年	2006
10	雲・涌夕	平成 6 年	1994	21	FLOWING, SCARLET, RED	平成 20 年	2008
11	風	平成 7 年	1995	22	干支置物 (12 点 1 組)		

総数 22 件 33 点

3) その他館内展示物

【1階】

〈本館〉

- ・「紫式部像」(1階エレベーターホール前)
- ・清水九兵衛「朱装」(1階正面玄関横：屋外)
- ・はぎとり土層(地下図書閲覧室への階段壁面)

〈別館〉

- ・礎石(中庭通路脇)
- ・礎盤(中庭通路脇)

【2階】

- ・梅原龍三郎「富士山の図」

【7階】

- ・大甕

Ⅲ-2 特別展示

1) 自主企画展

Ⅲ-2 特別展示 ▶ 1) 自主企画展

①日本メキシコ交流400周年記念 古代メキシコ・オルメカ文明展—マヤへの道

会 期：2010年7月31日(土)～9月26日(日)

[50日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階特別展示室・3階美術工芸展示室

入場料：一般1,300円／大高生800円／中小生500円

主 催：京都府、京都文化博物館、朝日新聞社

後 援：外務省、メキシコ大使館、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

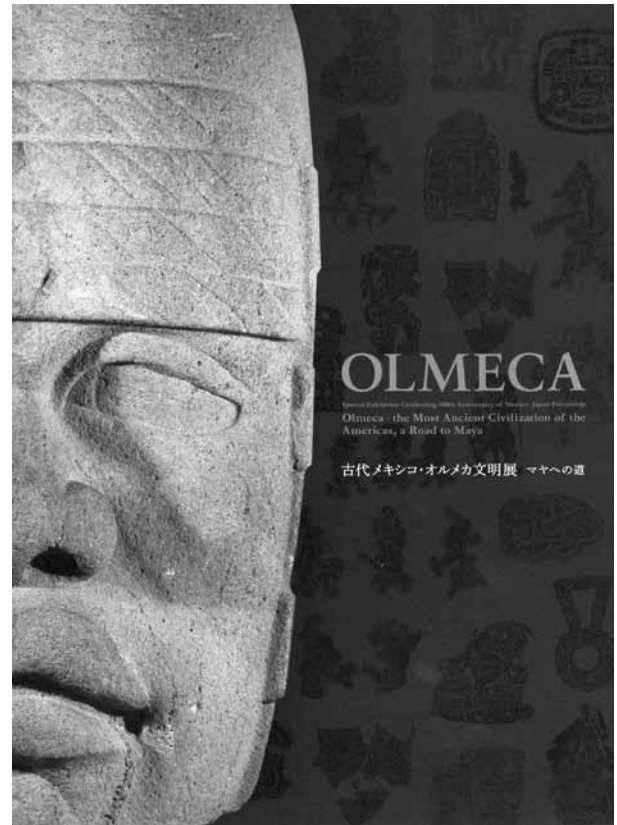
協 力：アエロメヒコ航空、毎日放送、京都外国語大学

企画協力：メキシコ国家文化芸術庁(CONACULTA)、メキシコ国立人類学歴史学研究所(INAH)

協 賛：株式会社 大伸社

担当者：南 博史、松岡美知世

入場者数：38,284人(1日平均766人)



「古代メキシコ・オルメカ文明展」図録表紙

【概 要】

マヤからさらに遡ること紀元前1200年ころ、中米の密林の中に新大陸でもっとも最初の文明と言われるオルメカ文明が誕生。輝くヒスイ製品、ジャガーや蛇信仰、土器や石器に描かれた図像、そして暦。後の中米の古代文明の特徴をすでに持ちながら、何トンにもおよぶ巨石彫刻、巨大な建造物など、新大陸の「母なる文明」を築いた人々の社会や生活、文化の実像はまだ謎に包まれている。本展ではオルメカからマヤにいたる最新の研究成果をもとに、ほとんどが日本初公開の約130点の優品と豊かな映像資料によって中米の密林に眠る巨石文明の謎にせまった。

【展覧会の構成と主な出品作品】

プロローグ マヤから遡る

／巨石人頭像

第1章 人々と自然

／土偶、鳥形土器、動物形土器、植物形土器

第2章 神と王権

／玉座、半人半獣神像、半人半ジャガーを描いた彩色土器、ヒスイ製マスク、装飾品

第3章 聖なる地

／ジャガー神像、ヒスイ磨製石斧、木製彫像、土偶

第4章 交流と拡散

／神像、土製仮面、ヒスイ製品

エピローグ マヤへの道

／長期歴を刻んだ石碑、特別出品「マヤ古典期の石碑」

【出品作品数】 125件

【関連行事】

- [1] 講演会「オルメカ展のみどころ
～遺跡でたどる古代メキシコ～」
日時：8月28日(土)午後1時30分～3時
場所：別館ホール
講師：南 博史
参加者数：136名
- [2] 記念コンサート
「マリアッチ～メキシコ音楽を楽しむ～」
日時：8月7日(土)
午後3時～、午後6時30分～(各回45分)
場所：別館ホール
出演：三品國男&マリアッチ ニッポン
参加費：1,000円
参加者数：95名
- [3] 担当学芸員による展示解説
展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)
期間中の毎週金曜(8月 6日・13日・20日・27日、
9月3日・10日・17日・24日)
いずれも、担当：南

【関連事業】

- [1] ぶんぱくこども教室事業 (※p.32・33参照)
a. 「博物館でアート～私たちのオルメカ文明展～」
b. 「わたしだけの『オルメカヘッド』づくり」
c. 「五感で楽しむ古代メキシコ」
- [2] 「古代メキシコ・オルメカ文明展×キツザニア甲子園 日本メキシコ交流400周年記念スタンプラリー」
主催：京都文化博物館、朝日新聞社
概要：兵庫県西宮市「キツザニア甲子園」と当館の2箇所ですたンプを集めた方に、オリジナルグッズを進呈。
期間：2010年7月31日(土)～9月26日(日)
参加者数：22名(※当館側のグッズ引替数)
- [3] 「KYOTO×MEXICO エルマナス2010」への参加
概要：京都市と、メキシコ・グアダハラ市の



「古代メキシコ・オルメカ文明展」4階会場風景

姉妹都市友好30周年を記念したイベント「エルマナス2010」(主催：京都 メキシコ エルマナス プロジェクト、於：新風館)への出展、および、担当学芸員によるトークショー。

期間：2010年9月4日(土)・5日(日)
2日間動員数：23,000人

【巡回展】

本展覧会は京都文化博物館と朝日新聞社とで実行委員会を構成、企画し、当館を含む全国5会場を巡回するものである。本年度は下記2会場で開催された。

東京展(古代オリエント博物館)

会期：2010年10月9日～12月19日[72日間]

入場者数：39,148人(1日平均544人)

北九州展(北九州市立いのちのたび博物館)

会期：2011年1月2日～3月31日[89日間]

入場者数：22,598人(1日平均254人)

また、来年度は下記2会場で巡回開催の予定である。

名古屋展(名古屋市博物館)

会期：2011年4月16日～6月26日[60日間]

鹿児島展(鹿児島県歴史資料センター黎明館)

会期：2011年7月29日～9月3日[32日間]

2) 共催展等

III-2 特別展示 ▶ 2) 共催展等

① 冷泉家時雨亭叢書完結記念 冷泉家 王朝の和歌守展

会 期：2010年4月17日(土)～6月6日(日)

[44日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

※ただし、5月3日は臨時開館、

5月11日は展示替えのため臨時休室

会 場：4階特別展示室・3階美術工芸展示室

入場料：一般1,200円／大高生800円／中小生500円

主 催：京都府、京都文化博物館、財団法人冷泉家時雨亭文庫、朝日新聞社、朝日放送

後 援：文化庁、社団法人霞会館、古典の日推進委員会、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

協 賛：京都女子大学、トヨタ自動車、大日本印刷

協 力：山田松香木店、ニッセイ同和損害保険

担当者：横山和弘

入場者数：54,502人(1日平均1,239人)



「冷泉家 王朝の和歌守展」ちらし

【概要】

冷泉家は、平安・鎌倉時代の歌人で勅撰和歌集の撰者となった藤原俊成、定家、為家を祖にもち、歴代が宮廷や武家の歌道師範をつとめた家柄。京都御所にほど近い同家の蔵には、800年の伝統のなかで蓄積された、勅撰集、私家集、歌学書、古記録などが収められている。それらの書物が、「冷泉家時雨亭叢書」として刊行され、昨年全84巻が完結したのを機会に、守り伝えられた古典籍の精髓を一堂に会し、これまでにない規模で展覧を行った。

【展覧会の構成】

第1章 家祖／第2章 明月記／第3章 勅撰集／第4章 私家集／第5章 歌書さまざま／第6章 宮廷と宸翰

【主な出品作品】

藤原俊成筆『古来風鉢抄』、藤原定家筆『古今和歌集(嘉禄二年本)』『後撰和歌集(天福二年本)』『拾遺愚草』『明月

記』の国宝5点をはじめ、300点以上の重要文化財を前・後期に分けて公開した。

【出品作品数】 438件

【関連行事】

〔1〕 記念イベント「和歌をうたう(披露)」

日時：4月24日(土)午後1時～

場所：別館ホール

講師：冷泉貴実子氏(冷泉家当代夫人)

出演：冷泉家門人の皆様

参加者数：200名

〔2〕記念講演会

いずれも、午前10時30分～正午
3階映像ホールにて

- a. 4月29日(木・祝日)「冷泉家の伝統と文化」
講師：冷泉貴実子氏(冷泉家当代夫人)
参加者数：92名
 - b. 5月1日(土)「魅惑の平安私家集」
講師：田中 登氏(関西大学教授)
参加者数：87名
 - c. 5月8日(土)「王朝和歌の出発—『古今和歌集』—」
講師：赤瀬信吾氏(京都府立大学教授)
参加者数：85名
 - d. 5月15日(土)「冷泉家の歴史と文化」
講師：冷泉為人氏(冷泉家当代)
参加者数：84名
 - e. 5月22日(土)「奇跡の歌書」
講師：藤本孝一氏
(龍谷大学客員教授・展覧会監修者)
参加者数：89名
 - f. 5月29日(土)
「冷泉家と京都～定家の歩いた京のまち～」
講師：横山和弘
参加者数：84名
- ※f. 横山担当分は、京都ミュージアムズフォーの
「連携講座」を兼ねる。

〔3〕関連イベント

- a. 古典の日推進委員会主催「街かど古典カフェ」
特別講座1「現在にいきづく和歌のこころと美」
講師：小林一彦氏(京都産業大学教授)



「冷泉家 王朝の和歌守展」会場入口

特別講座2「王朝の和歌をつなぐ」

講師：冷泉貴実子氏(冷泉家当代夫人)

日時：4月25日(日)

午後1時30分～3時30分

場所：別館ホール

参加料：1,500円(展覧会チケット代含)

参加者数：200名

b. 山田松香木店協力 お香ワークショップ

日時：5月16日(日)午後1時～3時

場所：別館2階 講義室

講師：山田松香木店の皆様

参加料：1,000円(材料費含)

参加者数：26名

〔4〕担当学芸員による展示解説

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)

4月30日、5月7日・21日、6月4日

いずれも、担当：横山

②2010年NHK大河ドラマ 特別展 龍馬伝

会 期：2010年6月19日(土)～7月19日(月・祝)
[27日間]

休館日：月曜日(祝日は開館、翌日休館)

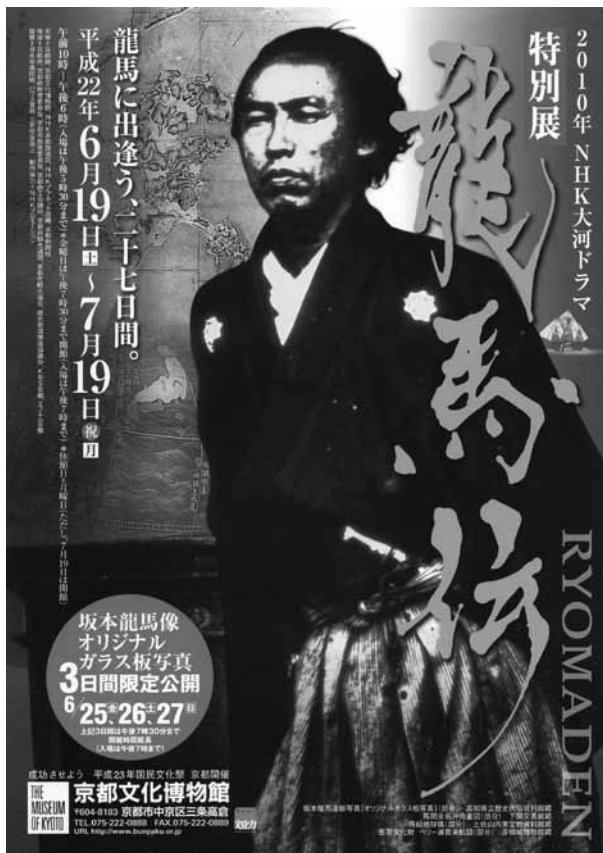
※ただし、7月19日は開館

会 場：4階特別展示室・3階美術工芸展示室

入場料：一般1,200円／大高生800円／中小生500円

主 催：京都府、京都文化博物館、NHK京都放送局、
NHKプラネット近畿、京都新聞社

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員
会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都
市観光協会、歴史街道推進協議会、KBS京都、
エフエム京都



「特別展 龍馬伝」ちらし

協 賛：日本写真印刷、ハウス食品、三井住友海上
 制作協力：NHKプロモーション
 担当者：横山和弘
 入場者：67,085人(1日平均2,485人)

【概 要】

坂本龍馬は、天保6年(1835)、土佐藩の郷土坂本家の次男として生まれた。商家才谷屋の系譜を引く坂本家の自由で合理的な町人気質に触れながら育った龍馬は、窮屈な土佐藩を飛び出し、幕臣勝海舟の門弟となり、航海術を習得。その後、長崎で貿易会社を兼ねた政治結社亀山社中、そして海援隊を組織する。対立していた薩摩藩と長州藩の間を調停し、薩長同盟の締結に尽力、さらには大政奉還の実現をめざして奔走し、明治維新を大きく推し進める原動力となった。しかし、慶応3年(1867)11月15日、何者かによって暗殺され、「世界の海援隊を作る」という夢半ばにして、33年の短い人生の幕を閉じた。

この展覧会では、2010年NHK大河ドラマ「龍馬伝」の放送と連動して、高知や京都などに伝わる龍馬の遺品

や書簡類、幕末の騒乱を伝える歴史資料などで構成しながら、坂本龍馬の波乱に満ちた生涯を紹介した。

【展覧会の構成】

特設コーナー 坂本龍馬と岩崎弥太郎

第1章 土佐に生まれて

第1節 土佐／第2節 龍馬誕生

第2章 坂本龍馬飛騰！

第1節 黒船／第2節 土佐勤王党／第3節 勝海舟／第4節 神戸海軍操練所

第3章 薩長同盟成る

第1節 亀山社中と薩長同盟／第2節 下関の龍馬と幕長戦

第4章 夢は世界へ

第1節 海援隊という丸事件／第2節 船中八策と大政奉還／第3節 暗殺—近江屋の悲劇—

【主な出品作品】

- ・坂本龍馬湿板写真 慶応2年(1866)または慶応3年(1867)／高知県立歴史民俗資料館
- ・重要文化財 ペリー浦賀来航図 嘉永6年(1853) 1巻／滋賀・彦根城博物館
- ・重要文化財 坂本龍馬着用 紋服 江戸時代 19世紀 1領／京都国立博物館
- ・重要文化財 近江屋旧蔵 書画貼交屏風 江戸時代 18世紀 2曲1隻／京都国立博物館
- ・坂本龍馬書簡集(寺田屋登勢・伊助宛て) 1巻5通／京都府立総合資料館(当館管理)

【出品作品数】 194件

【関連行事】

〔1〕記念講演会

a.「坂本龍馬—その手紙の面白さ—」

日時：6月26日(土) 午前10時半～正午

場所：3階映像ホール

講師：宮川禎一氏

(京都国立博物館学芸部考古室長)

参加者数：91名

b.「龍馬暗殺の真相」

日時：7月3日(土) 午前10時半～正午

場所：3階映像ホール

講師：木村幸比古氏(霊山歴史館学芸課長)

参加者数：87名

〔2〕記念イベント「龍馬ゆかりの幕末京都を歩く」

日時：7月11日(日) 1回目＝午前10時～正午
2回目＝午後2時～4時



「特別展 龍馬伝」記念イベントの様子

場所：京都市役所集合、四条河原町交差点付近
解散。河原町通・木屋町通を南方向に南下し、龍馬ゆかりの地を訪ねる。

講師：木村武仁氏(霊山歴史館主任学芸員)

参加者数：1回目＝20名、2回目＝16名

〔3〕担当学芸員による展示解説

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)

7月2日(金)・9日(金)

いずれも、担当：横山

〔4〕記念映画上映

龍馬を描いた作品を中心に、幕末の京都を舞台にした『竜馬暗殺』『新選組始末記』『幕末』など13作品を、3階映像ホールにて上映した。

III-2 特別展示 ▶ 2) 共催展等

③ナポリ・宮廷と美 カポディモンテ美術館展 ルネサンスからバロックまで

会 期：2010年10月9日(土)～12月5日(日)

[50日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階特別展示室・3階美術工芸展示室

入場料：一般1300円/大高生900円/中小生600円

主 催：京都府、京都文化博物館、イタリア文化財省・カポディモンテ美術館、毎日放送、毎日新聞社

後 援：外務省、文化庁、イタリア大使館、イタリア文化会館、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

協 賛：大日本印刷

協 力：ARTERIA、AXA ART、日本通運、日本貨物航空、日本航空

担当者：市川彰、植田彩芳子

入場者：56,213人(1日平均1,124人)

【概 要】

イタリアを代表する美術館のひとつであるナポリ・カポディモンテ美術館の名品によって、ルネサンスから



「カポディモンテ美術館展」ちらし

らバロックまでのイタリア美術を概観。

展示される作品は主に、ファルネーゼ家が蒐集したルネサンスおよびバロック美術の作品と、ブルボン家が蒐集したナポリ・バロック美術の作品。パルミジャーノ《貴婦人の肖像(アンテア)》、ティツィアーノ《マグダラのマリア》、ガイド・レーニ《アタランテとヒッポメネス》、ジェンティレスキ《ユディトとホロフェルネス》といった至極の名品を含む80点を展示。

ルネサンスからバロックまでのイタリアを代表する貴族のひとつであるファルネーゼ家は、過去の美術作品を蒐集すると同時に、同時代の芸術家にも積極的に作品を注文し、この時代の美術の牽引役を果たした。相続によってファルネーゼ家の膨大な財産を受け継いだブルボン家は、自らが統治したナポリの美術を蒐集。本展では、芸術の庇護者であった大貴族がどのような鑑識眼で美術品を蒐集し、そして宮殿に飾ったのか、あるいはイタリアの大美術館がどのようにして出来上がったのかということも垣間見ることができる構成。

【展覧会の構成と主な出品作品】

I イタリアのルネサンス・バロック美術

アンドレア・マンテーニャ《ルドヴィコ(?)・ゴンザーガの肖像》1470年頃／パルミジャーノ《貴婦人の肖像(アンテア)》1535-37年／ティツィアーノ・ヴェチェッリオ《マグダラのマリア》1567年／エル・グレコ《燃え木でロウソクを灯す少年》1570-72年／アンニーバレ・カラッチ《リナルドとアルミーダ》1601-02年



「カポディモンテ美術館展」会場風景

／ガイド・レーニ《アタランテとヒッポメネス》
1622年頃

II 素描

パルミジャーノ《矢を射るキューピッド》
1527-31年頃／ガイド・レーニ《マントを纏った人物の習作》1618-19年頃／ジョヴァンニ・ランフランコ《福音書記者ヨハネの習作》
1634-35年／ルカ・ジョルダノ《マグダラのマリアの被昇天》1660-65年頃

III ナポリのバロック絵画

アルテミジア・ジェンティレスキ《ユディトとホロフェルネス》1612-13年／マティアス・ストーメル《羊飼いの礼拝》1637年頃／ベルナルド・カヴァッリーノ《歌手》1645年頃／アントニオ・デ・ベリス《善きサマリア人》1640-45年／ルカ・ジョルダノ《眠るヴィーナス、キューピッドとサテュロス》1663年

【出品作品数】 80点

【関連行事】

〔1〕 記念講演会

a. 「バロック期のローマとナポリの絵画」

日時：10月9日(土)午後2時～3時30分

場所：別館ホール

講師：渡辺晋輔氏(国立西洋美術館主任研究員)

参加者数：119名

b. 「カポディモンテ美術館にみる怖い絵」

日時：11月6日(土)午後2時～3時30分

場所：別館ホール

講師：中野京子氏(早稲田大学講師)

参加者数：170名

〔2〕 記念コンサート

「京都市交響楽団メンバーによる弦楽四重奏の夕べ～ベネチア楽派からナポリ楽派まで～」

日時：10月31日(日)午後6時30分～

場所：別館ホール

参加者数：120名

〔3〕 担当学芸員による展示解説

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)

10月22日(金)、11月12日(金)・19日(金)

いずれも、担当：市川

* 2010(平成22)年度特別展一覧

展 覧 会 名	会 期	日 数	入場者数	一日平均	形 態
古代カルタゴとローマ展	2010.4.1～4.4 (2.11～4.4)	4	5,284	1,321	共催展
冷泉家 王朝の和歌守展	2010.4.17～6.6	44	54,502	1,239	共催展
龍馬伝展	2010.6.19～7.19	27	67,085	2,485	共催展
古代メキシコ・オルメカ文明展	2010.7.31～9.26	50	38,284	766	主催展
ナポリ・宮廷の美 カポティモンテ美術館展	2010.10.9～12.5	50	56,213	1,124	共催展
計5件		175	221,368	1,265	

古代カルタゴとローマ展は年度をまたいだ展覧会のため、ここでは4月1日からの数字を記入している。

3) 京都府民ギャラリー事業への協力

京都府では、府民が身近に「文化・芸術の町」を体感できる空間を創出するために、府民ギャラリー事業を実施している。本事業は、京都府が所蔵する美術工芸品のうち、「京の四季」や「京の絵本原画」等からテーマ

を定めて構成した作品群を、府内の文化施設で展示するもので、当館は(1)展示会場となる文化施設の事前調査、(2)展示作品の選定、(3)会場での展示指導などに協力している。

【府民ギャラリー展示作品一覧】

主 催 者	期 間	開催場所	展示内容	点数
京 都 府	2010.6.16～9.30	京都府庁内	「京の四季」作品 澤野文臣「野々宮」ほか	6
京 都 府	2010.10.1～12.24	京都府庁内	「京の四季」作品 伊東俊平「冠島」ほか	6
京 都 府	2011.1.21～3.31	京都府庁内	「京の四季」作品 林俊治「寒一八坂の塔雪景一」ほか	6

合計 18 点

Ⅲ-3 映画

1) 常設上映

上映期間	テーマ	作品名	日数	回数	鑑賞者
2010.4.1～5.2	半世紀前を振り返る－1960年の日本映画界	日本の夜と霧／裸の島／不知火検校／妖刀物語花の吉原百人斬り／武器なき闘い／悪い奴ほどよく眠る／黒い画集 あるサラリーマンの証言／女が階段を上がる時／人間みな兄弟／1960年6月安保闘争不滅の足跡／おとうと	19	38	1,712
2010.4.29	昭和の日記念DVDビデオ上映	昭和天皇の御生涯	1	2	155
2010.5.6～9 5.27～6.13	ロマンス映画百貨～恋愛映画特集～	鶴八鶴次郎／また逢う日まで／にぎりえ／君の名は／純愛物語／忍ぶ川	16	32	1,793
2010.5.13～23	ブラジル映画の巨匠ネルソン・ペレイラ監督特集	リオ40度／乾いた人生／監獄の記憶／第三の岸辺	8	16	741
2010.6.17～8.1	【特別展「龍馬伝」記念特別上映】 坂本龍馬と幕末青春群像	花ちりぬ／その前夜／江戸最後の日／維新の曲／京洛の舞 ／幕末太陽傳／螢火／新選組始末記／暗殺／燃えよ剣／幕末／龍馬暗殺／龍馬を斬った男	26	52	3,382
2010.7.15～17	祇園祭記念特別上映	祇園祭	2	4	269
2010.8.6～8	第16回京都国際子ども映画祭	かえるくとマックス／青葉学園物語／小さな泥棒たち／短編・アニメ6作品（アポロ／ヤギの家／ワンダフルデイ／6ドル50セントの男／つみきのいえ／子育てレース）	3	9	734
2010.8.12～22	夏休み子ども映画特集－戦災を生き抜く子供たち	原爆の子／蜂の巣の子供たち／おかあさん／キクとイサム	8	16	648
2010.8.26～29	第5回映画フィルム復元ワークショップ作品上映	チャップリンとクーガン／闇の手品／893愚連隊／紅葉狩／史劇楠公訣別／広島・長崎における原子爆弾の影響	4	8	500
2010.9.2～26	【第9回新京極映画祭協賛企画】 夢と現実－戦国・乱世を生きる	気まぐれ冠者／出世太閤記／戦国群盗伝／雨月物語／ジャン有馬の襲撃／叛逆児／大魔神／千利休本覺坊遺文	16	32	1,497
2010.9.30～10.3 10.21～31	没後40年－内田吐夢監督を回顧する	汗／仇討選手／天国その日帰り／土／たそがれ酒場／どたんば／餓飢海峡	12	24	982
2010.10.7～10	【第7回京都映画祭共催企画】 松竹下加茂撮影所火災より60年－今、蘇る映画－	十字路／残菊物語／鳥辺山心中／黒手組助六／切られ与三 玩具映画ご用船／白井権八など15作品 風雲城史／美丈夫左京（恋慕薩摩飛脚）／荒木又衛門（荒木伊賀越三十六番斬り）	4	8	452
2010.10.14～17	【「きものの似合うまち・京都」推進事業協賛企画】キモノ大正ロマン－鈴木清順監督作品に舞う着物	ツイゴイネルワイゼン／夢二	4	8	403
2010.11.4～12.5	【京都文化博物館リニューアル記念企画】 京都映画名作セレクションと京都映画リクエスト上映	狂った一頁／丹下左膳余話 百万両の壺／無法松の一生／羅生門／大江戸五人男／西鶴一代女／臉の母／薄桜記／ぼんち／炎上／古都／切腹	20	39	2,014

2) 特別企画・共催事業

Ⅲ-3 映画 ▶ 2) 特別企画・共催事業

①2010年度共催上映等の実績

◆ 昭和の日記念DVDビデオ上映

協力：昭和聖徳記念財団
会場：当館映像ホール

内容：『昭和天皇の御生涯～激動の昭和～』の上映。
鑑賞者数：155人(155人/1日)
期間：4月29日

◆ **ブラジル映画の巨匠ネルソン・ペレイラ監督特集**

共催：京都外国語大学
特別協力：アテネ・フランセ文化センター
後援：駐日ブラジル大使館、ブラジル外務省
会場：当館映像ホール
内容：ネルソン・ペレイラ監督作品『リオ40度』、
『乾いた人生』等4作品の上映とペレイラ監督
の講演。
鑑賞者数：741人(93人／1日)
期間：5月13日～23日

◆ **第16回京都国際子ども映画祭**

共催：キンダーフィルムフェスト・きょうと
会場：当館映像ホール
内容：『かえるくんとマックス』(オランダ)『小さな
泥棒たち』(ラトヴィア)等9作品のコンペ上映
とメリーアン・レッドパス氏(ベルリン国際
映画祭ジェネレーション部門ディレクター)
の講演。
鑑賞者数：743人(245人／1日)
期間：8月6日～8日

◆ **第5回映画フィルム復元ワークショップ作品上映**

共催：大阪芸術大学、プラネット映画資料図書館、
映画保存協会、IMAGICAウエスト
協力：東京国立近代美術館フィルムセンター、広島
市映像文化ライブラリー
会場：当館映像ホール
内容：『チャップリンとクーガン』『史劇 楠公訣別』
『広島・長崎における原子爆弾の影響』等6作
品の上映。
鑑賞者数：502人(125人／1日)
期間：8月26日～29日

◆ **【第9回新京極映画祭協賛企画】**

夢と現実－戦国・乱世を生きる
協賛：新京極商店街振興組合(新京極映画祭)
会場：当館映像ホール
内容：『気まぐれ冠者』『出世太閤記』『戦国群盗伝』等
8作品の上映。
鑑賞者数：1,497人(94人／1日)
期間：9月2日～26日

◆ **【第7回京都映画祭共催企画】**

松竹下加茂撮影所火災より60年－今、蘇る映画－
共催：第7回京都映画祭実行委員会
協力：東京国立近代美術館フィルムセンター、プラ
ネット映画資料図書館、大阪芸術大学、NPO
映画保存協会
会場：当館映像ホール
内容：『美丈夫左京』『風雲城史』『黒手組助六』等8作
品の上映と活弁・和洋合奏と大島万恭子氏、
太田米男氏の講演。
鑑賞者数：452人(113人／1日)
期間：10月7日～10日

◆ **【「きものの似合うまち・京都」推進事業協賛企画】**

キモノ大正ロマン－鈴木清順監督作品に舞う着物
協力：京都府染織・工芸室、京都和装産業振興財団
会場：当館映像ホール
内容：『ツイゴイネルワイゼン』『夢二』の上映と資料
展示。
鑑賞者数：403人(101人／1日)
期間：10月14日～17日

III-3 映画 ▶ 2) 特別企画・共催事業

② **映画製作者・研究者・専門家向け／大学生向け普及事業**

◆ **日本映像学会関西支部第32回夏期映画ゼミナール**

**2010 映画美術の世界－井川徳道氏、石原昭氏を招
いて－**
共催：京都府、日本映像学会関西支部
会場：京都府立ゼミナールハウス

内容：『序の舞』『緋牡丹博徒 お竜参上』『祇園祭』等9
作品の上映とシンポジウム。
参加者数：61名
期間：7月30日～8月1日

◆ 第5回映画の復元と保存に関するワークショップ

共催：大阪芸術大学、IMAGICAウェスト、プラネット映画資料図書館、神戸映画資料館

会場：当館(8月28日、29日)、IMAGICAウェスト(8月30日)

内容：映画フィルム復元に関する講義と実習

参加者数：64名

期間：8月28日～30日

◆ 京都映画若手才能育成ラボ

共催：京都府、ドイツ文化センター、東映京都撮影所、松竹京都撮影所

特別協力：株式会社ディレクターズ・ユニブ、VIPO京都事務所

協力：任天堂株式会社、ソニービジネスソリューションズ株式会社、京都リサーチパーク町家スタジオ、ジャパンアクションエンタープライズ

会場：東映京都撮影所、松竹京都撮影所、町家スタジオ

内容：撮影所見学、殺陣講座、HISTORICA映画祭・クリエイターズサミット等参加、合宿形式に



「京都映画若手才能育成ラボ」の様子

よる京都の映画撮影所での時代劇製作ワークショップ。

参加者数：19名

期間：12月7日～12日

◆ インターンシップの受け入れ

2010年度(前期)

：立命館大学(文学部1名、映像学部1名)

③ 子ども向け普及事業

◆ ぶんぱく子ども映画ワークショップ

探検！映画の博物館

会場：当館映像ホール、映像ギャラリー、資料室、フィルム収蔵庫

内容：博物館内の映画資料関連設備の見学と映像原理体験。

参加者数：8名

期間：11月13日

◆ ぶんぱく子ども映画ワークショップ

春休みアニメーション制作ワークショップ

共催：NPOキダーフィルムフェストきょうと

会場：当館別館2階講義室

内容：切り絵やお菓子を使ってアニメーションを製作するワークショップ。

参加者数：10名

期間：3月26日～28日

3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、明治から昭和初期の映画カメラ・映写機、伊藤大輔文庫、大映京都撮影所関連資料を展示している。また所蔵の映画作品から73作品をダイジェストして収録し、検索システムとして公開している。詳細については、『京都文化博物館

10年のあゆみ』(1999年)を参照されたい。なお、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。2010年度は下記のテーマで展示した。

【映像ギャラリー展示資料一覧】

期 間	テ ェ マ
2010.4.1～5.5	半世紀前を振り返る 1960 年の日本映画界
2010.5.6～6.13	ロマンス映画百貨～恋愛映画特集～ ブラジル映画の巨匠ネルソン・ペレイラ監督特集
2010.6.15～8.1	坂本龍馬と幕末青春群像
2010.8.3～29	夏休み子ども映画特集～戦災を生きぬく子どもたち
2010.8.31～9.26	【第9回新京極映画祭協賛企画】夢と現実～戦国・乱世を生きる
2010.9.28～10.31	没後40年～内田吐夢監督を回顧する 松竹下加茂撮影所火災より60年 鈴木清順監督作品に舞う着物
2010.11.2～12.5	【文化博物館リニューアル記念企画】京都映画名作セレクションと京都映画リクエスト上映

4) 京都府映像文化センター運営委員

氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等
中島 貞夫	映画監督	山田 善夫	京都興行協会常任理事
中村 努	シナリオライター	藤井 貢	京都府文化芸術室長
奈村 協	東映京都撮影所長	荒巻 禎一	内部委員
羽生 清	京都造形芸術大学教授	鈴木 真咲	内部委員
森田富士郎	映画撮影監督	青木 完一	内部委員

Ⅲ-4 その他

【常設展の小中高校生の入場料の無料化】

2008年度の開館20周年を機に、次世代を担う子供たちに京都の歴史や文化・芸術に身近に親しんでいただくことを目的として、小中高生の常設展入場料の無料化を始めた。2010年度は3,655人の子供たちが入場した。入館者の地域としては京都市内か他府県の学校の生徒が多く、京都市以外の京都府内の利用者が少ない。また、来館目的の大半は修学旅行か課外授業であった。

【夜間開館の実施】

来館者の利便性をより高めることを目的として、2008年6月から特別展の開館時間の延長を開始した。毎週金曜日に限り、閉室時間を午後6時から午後7時30分とした。また、特別展会期中の数回、金曜日の夜間開館にあわせて午後6時から30分程度でギャラリートークを開催している。

【リニューアル休館前の常設展無料公開・特別企画】

平成22年12月6日(月)から京都府によるリニューアル工事が開始され、当館は同日から平成23年7月上旬まで休館に入ることとなった。休館直前の12月1日(水)から5日(日)までの間は、お客様への感謝の意を込めた特別企画として、以下の催事を行った。

〔1〕常設展示場無料開放：12月1日～5日(5日間)

入館者数：1,863人(1日平均373人)

〔2〕2階歴史展示室「ラストトークライブ」

12月1日午後2時～「平安京と文化財」

講師：藤本孝一(龍谷大学客員教授、当館OB)

12月2日午後2時～「歴史展示『武者の世に』の構想」

講師：野口実(京都女子大学教授、当館OB)

12月3日午後2時～「十二単と仮名」

講師：土橋誠(京都府立総合資料館、当館OB)

12月3日午後4時～「埋納銭 中世京都の証言者」

講師：横山和弘(当館学芸員)

12月4日午前11時～「洛中洛外図屏風に見る商人達」

講師：西山剛(当館学芸員)

12月4日午後2時～「法住寺殿跡出土鋤形について」

講師：片岡肇(元 当館学芸第二課長)

12月4日午後4時～「ぶんぱくの展示はこう変わる」

講師：南博史(当館学芸員)

12月5日午前11時～「京のまつり」

講師：大塚活美(京都府立総合資料館、当館OB)

12月5日午後2時～「歴史展示にみる京都都市史」

講師：山田邦和(同志社女子大学教授、当館OB)

12月5日午後4時～「復元模型のたのしみ」

講師：植山茂(当館学芸員)

〔3〕3階映像ホール「京都映画リクエスト上映」

来館者からのリクエストを集計し、そのうち上位4作品を上映。2011年7月にもリニューアルオープン企画として、他のリクエスト作品を上映予定。

観覧者数：744人(1日平均149人)

IV. 調査研究活動

IV-1 学芸員の活動

1) 研究

【博物館研究費による研究】

畑 智子・明治期デザインの研究(1)―中原哲泉

市川 彰・池大雅の書画作品の基礎調査研究

西山 剛・近世地下官人成立過程についての研究―禁裏駕輿丁を中心に―

植田彩芳子・黒田清輝の絵画理念の変容―「心持ち」論を中心に―

【外部研究費・共同研究等による研究】

畑 智子・研究プロジェクト「アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築」(国際高等研究所 2010-2012)

森脇清隆・文部科学省科学技術試験研究「デジタル・ミュージアム実現のための研究開発に向け

た要素技術及びシステムに関する調査検討」(代表：立命館大学情報理工学部田中弘美教授)研究協力者

・大阪芸術大学藝術研究所特別プロジェクト「玩具映画及び映画復元・調査・研究プロジェクト」(代表：太田米男大阪芸術大学教授)研究協力者

林 智子・文部科学省 平成22年度「人文学および社会科学における共同研究拠点の整備の推進事業」委託費による文化女子大学文化ファッション研究機構「服飾文化共同研究」;プロジェクト研究「江戸時代中期から後期の小袖に関する復元模作を通じた研究」(代表者 福島雅子・横浜美術大学助手)研究分担者

2) 出講・委嘱

畑 智子・福知山市佐藤太清賞公募美術展 審査員

・京都工芸美術作家協会展 審査員

・第22回創工会展 審査員

・京の暮らしの文化展企画委員会展示プロジェクトチーム委員(京都市国民文化祭)

南 博史・文友会創立50周年記念事業準備委員

森脇清隆・独立行政法人日本芸術文化振興会芸術文化振興基金運営委員会専門委員

・京都国際学生映画祭企画検討委員

・芸術科学会関西支部幹事

横山和弘・京都国立博物館 有形文化財評価員

林 智子・文化女子大学文化ファッション研究機構研究員

①論文・著作

- 畑 智子・「Japanese Meiji Design in Transition-Searching for Cultural Identity」(『Design and craft: a history of convergences and divergences [7th Conference of the ICDHS 2010 Proceedings]』所収、KONINKLIJKE VLAAMSE ACADEMIE van BELGIE発行、2010.9)
- 南 博史・「はじめに」(『特別展 古代メキシコ・オルメカ文明展』図録所収、京都文化博物館、2010年7月)
・「オルメカヘッド『巨石人頭像』に魅せられて」(古代オリエント博物館情報誌『オリエント』古代オリエント博物館、2011年2月)
- 森脇清隆・「京都文化のアーカイヴ・コンテナとしてのフィルム」(東京国立近代美術館フィルムセンター・ニューズレター2010年4月-5月号所収)
- 市川 彰・「狩野永敬筆「十二ヶ月歌意図屏風」について～平成21年度美術品修繕報告を兼ねて～」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第23集所収、2011年3月)
- 横山和弘・特別展『2010年NHK大河ドラマ 龍馬伝』展覧会図録 分担執筆(NHK・NHKプロモーション、2010年4月)
・「鎌倉期の法親王と寺院社会に関するノートー仁和寺御室と東寺長者・金剛峯寺の諸関係からー」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第23集所収、2011年3月)
- 林 智子・「江戸時代中期から後期の小袖に関する復元模作を通じた研究」(服飾文化共同研究報告、2011年3月)
- 西山 剛・「御成敗式目・版本御成敗式目絵抄・版本御成敗式目」(国立歴史民俗博物館『武士とはなにか』展図録所収、2010年10月)
・「禁裏駕輿丁の近世的展開」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第23集所収、2011年3月)
- 植田彩芳子・「資料編(水墨画年表・「水墨画の系譜」掲載作家略歴・水墨画系図・水墨画の用語・水墨画関係の主要参考文献)」(辻惟雄監修『日本の美術Ⅴ 水墨画Ⅱ』所収、美術年鑑社、2010年10月)
・「横山大観筆《無我》と課題制作に関する研究ー背景としての宋代・徽宗画院ー」(『鹿島美術研究 年報』27号別冊所収、財団法人鹿島美術財団、2010年11月)
・「黒田清輝の絵画理念の変容ー「心持ち」論を中心にー」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第23集所収、2011年3月)
・「研究ノート 京都日本画家協会の歴史」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第23集所収、2011年3月)
・「明治後期の絵画と思潮ー横山大観・岡倉天心・黒田清輝」(東京大学大学院博士論文、2010年度)

②発表・講演

- 畑 智子・「Japanese Meiji Design in Transition -Searching for Cultural Identity」(ICDHS国際デザイン会議／於；Paleis der Academien, Brussel／2010.9.20-22)
- 植山 茂・「祇園祭の山鉦」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2010年6月26日)
・「京の秋のまつり」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2010年9月25日)

- ・「平安京から京都へ」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2010年11月20日)
- ・「復元模型のたのしみ」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2010年12月5日)
- 南 博史 ・「遺跡と博物館で巡る考古学の旅」(本能ものしり講座、京都市本能学区自治会館、2010年7月6日)
- ・「古代メキシコ・オルメカ文明展」展示解説(2010年8月6日・13日・20日・27日、9月3日・10日・17日・24日)
- ・「古代メキシコの遺跡をめぐる～オルメカ文明展のみどころ～」(朝日旅行社主催講演、朝日新聞朝日会館ホール、2010年8月11日)
- ・「縄文文化とオルメカ文明」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2010年8月21日)
- ・「オルメカ展のみどころ～遺跡でたどる古代メキシコ～」(特別展記念講演会、京都文化博物館、2010年8月28日)
- ・「古代メキシコ・オルメカ文明展のみどころ」(たばこと塩の博物館『新大陸講座』、たばこと塩の博物館、2010年9月23日)
- ・「古代メキシコの遺跡を巡る～オルメカとは何か～」(特別展記念講演、古代オリエント博物館、2010年10月10日)
- ・「古代メキシコの遺跡を巡る～オルメカとは何か～」(古代オリエント友の会講座、古代オリエント博物館、2010年10月24日)
- ・「古代メキシコの遺跡をめぐる～オルメカ文明展のみどころ～」(ワールド旅行社主催講演、古代オリエント博物館、2010年11月25日)
- ・「ぶんぱくはこう変わる」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2010年12月4日)
- ・「古代メキシコ・オルメカ文明展のみどころ」(特別展記念講演会、北九州いのちの旅博物館、2011年1月22日)
- 南 博史／四代目森本安之助(森本鋳金具製作所)
- ・「鋳金具の技」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2010年5月29日)
- 森脇清隆 ・「発掘された映画たちー京都文化のアーカ

- イヴコンテナとしてのフィルム」(講師、東京国立近代美術館フィルムセンター、2010年4月17日)
- ・「フィルムアーカイブの現状と問題…京都を中心に」(講演、立命館大学映像学部、2010年4月29日)
- ・「山中貞雄監督の足跡」(講演、京都シネマ、2010年6月12日)
- ・「第5回映画フィルム復元ワークショップーアーカイブの仕事について」(講師、京都文化博物館、2010年8月28日)
- ・「京都新聞社<ソフィアがやってきた>嵯峨野小学校」(講演、京都新聞社・嵯峨野小学校、2010年11月2日)
- ・「ぶんぱく子ども教室「京都が日本のハリウッド? 探検!映画の博物館」(講師、京都文化博物館、2010年11月13日)
- ・「デジタルミュージアムとフィルムアーカイブの活動について」(講師、立命館大学アトリサーチセンター、2010年12月14日)
- ・「映画の扉をあけて、触れて、観て、感じてみよう」(講演、立命館小学校、2010年12月18日)
- ・立命館大学デジタル・ミュージアム人材育成パート企画ーデジタル時代の学芸員スキルアップ講座「博物館における映像の利用」「フィルムのアーカイブ」(講師、IMAGICA・ウェスト、2011年2月9日)
- 洲鎌佐智子・「工芸品鑑賞事始めー伝統と創造の京都を中心にー」(講師、ラポール学園、2010年5月31日)
- 市川 彰 ・「ナポリ宮廷と美 カポディモンテ美術館展」展示解説(2010年10月22日、11月12日・19日)
- 横山和弘 ・「源平合戦ゆかりの地～以仁王の高倉御所～」(歴史展示室展示解説、京都文化博物館、2010年4月3日)
- ・「冷泉家 王朝の和歌守展」展示解説(2010年4月30、5月7日・21日、6月4日)
- ・「冷泉家と京都～定家の歩いた京のまち～」

(特別展講演会、京都文化博物館、2010年5月29日)

・「特別展 龍馬伝」展示解説(2010年7月2日・9日)

・「平安貴族と寝殿造～東三条殿の世界から～」(歴史展示室展示解説、京都文化博物館、2010年7月17日)

・「埋納銭 中世京都の証言者」(歴史展示室展示解説、京都文化博物館、2010年12月3日)

西山 剛 ・「秀吉の頃の京都」(歴史展示室展示解説、京都文化博物館、2010年10月16日)

・「洛中洛外図屏風にみる商人達」(歴史展示室展示解説、京都文化博物館、2010年12月4日)

植田彩芳子 ・「黒田清輝の《昔語り》におけるフランス美術の影響」(口頭発表、2010年度明治美術学会第5回例会〔於：下関市立美術館〕、2011年2月19日)

V. 普及活動

V-1 出版物

1) 研究紀要『朱雀』

【京都文化博物館研究紀要『朱雀』第23集】

発行：京都文化博物館

発行日：2011年3月31日

印刷：株式会社 吉川印刷工業所

体裁：B5判、74ページ

編集担当：畑 智子

所載記事：

[論攷]

- ・西山 剛

禁裏駕輿丁の近世的展開

- ・植田彩芳子

黒田清輝の絵画理念の変容—「心持ち」論を中心に—

[研究ノート]

- ・横山和弘

鎌倉期の法親王と寺院社会に関するノート

—仁和寺御室と東寺長者・金剛峯寺の諸関係から—

- ・植田彩芳子

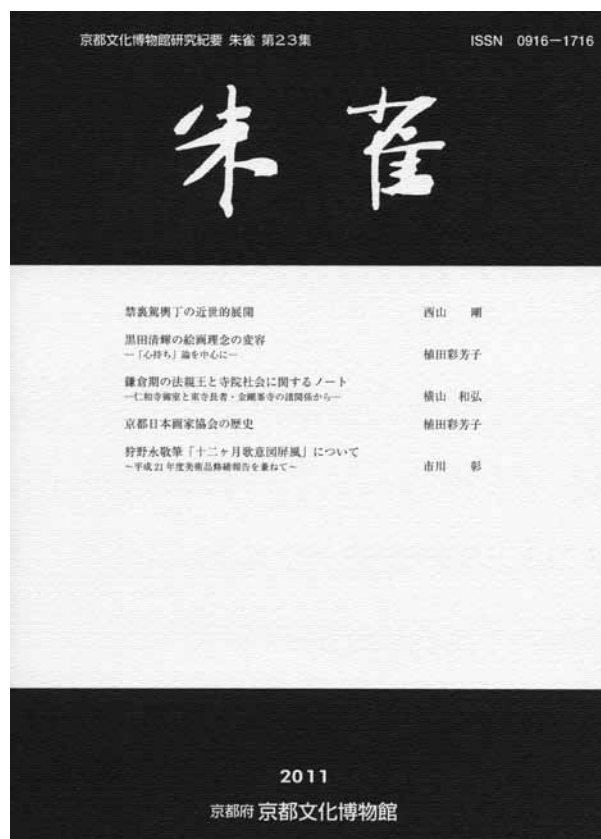
京都日本画家協会の歴史

[資料紹介]

- ・市川 彰

狩野永敬筆「十二ヶ月歌意図屏風」について

～平成21年度美術品修繕報告を兼ねて～



京都文化博物館研究紀要『朱雀 第23集』

2) 年報

【京都文化博物館2009(平成21)年度年報】

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2010年9月30日

印刷：株式会社 吉川印刷工業所

体裁：A4判、54ページ

編集担当：畑 智子、逸見恵美子

3) 展覧会図録

【『古代メキシコ・オルメカ文明展-マヤへの道』】

編集：京都文化博物館学芸課

発行：京都文化博物館

発行日：2010年7月30日

印刷：株式会社 大伸社

体裁：タテ29.7cm×ヨコ22.4cm、177ページ

V-2 講演会・音楽会

1) 講演会など

開催年月日	講師	所属等	演題・テーマ	備考
2010.4.3	横山 和弘	当館学芸員	源平合戦ゆかりの地～以仁王の高倉御所～	歴史常設展展示解説
4.24	冷泉貴実子	冷泉家当代夫人	和歌をうたう（披露）	「冷泉家 王朝の和歌守展」記念イベント
4.29	冷泉貴実子	冷泉家当代夫人	冷泉家の伝統と文化	「冷泉家 王朝の和歌守展」記念講演会
4.30	横山 和弘	当館学芸員		「冷泉家 王朝の和歌守展」展示解説
5.1	田中 登	関西大学教授	魅惑の平安私家集	「冷泉家 王朝の和歌守展」記念講演会
5.7	横山 和弘	当館学芸員		「冷泉家 王朝の和歌守展」展示解説
5.8	赤瀬 信吾	京都府立大学教授	王朝和歌の出発—『古今和歌集』—	「冷泉家 王朝の和歌守展」記念講演会
5.15	冷泉 為人	冷泉家当代	冷泉家の歴史と文化	「冷泉家 王朝の和歌守展」記念講演会
5.21	横山 和弘	当館学芸員		「冷泉家 王朝の和歌守展」展示解説
5.22	藤本 孝一	龍谷大学客員教授・ 展覧会監修者	奇跡の歌書	「冷泉家 王朝の和歌守展」記念講演会
5.29	横山 和弘	当館学芸員	冷泉家と京都～定家の歩いた京のまち～	「冷泉家 王朝の和歌守展」記念講演会
5.29	四代目森本安之助 ／南 博史	森本銚金具製作所 ／当館学芸員	銚金具の技	歴史常設展展示解説
6.4	横山 和弘	当館学芸員		「冷泉家 王朝の和歌守展」展示解説
6.26	宮川 禎一	京都国立博物館学芸部 考古室長	坂本龍馬—その手紙の面白さ—	「特別展 龍馬伝」記念講演会
6.26	植山 茂	当館学芸員	祇園祭の山鉾	歴史常設展展示解説
7.2	横山 和弘	当館学芸員		「特別展 龍馬伝」展示解説
7.3	木村幸比古	霊山歴史館学芸課長	龍馬暗殺の真相	「特別展 龍馬伝」記念講演会
7.9	横山 和弘	当館学芸員		「特別展 龍馬伝」展示解説
7.11	木村 武仁	霊山歴史館主任学芸員	龍馬ゆかりの幕末京都を歩く	「特別展 龍馬伝」記念イベント
7.17	横山 和弘	当館学芸員	平安貴族と寝殿造～東三条殿の世界から～	歴史常設展展示解説
8.6/13/20	南 博史	当館学芸員		「古代メキシコ・オルメカ文明展」展示解説
8.21	南 博史	当館学芸員	縄文文化とオルメカ文明	歴史常設展展示解説
8.27	南 博史	当館学芸員		「古代メキシコ・オルメカ文明展」展示解説
8.28	南 博史	当館学芸員	オルメカ展のみどころ～遺跡でたどる古代メキシコ～	「古代メキシコ・オルメカ文明展」記念講演会
9.3/10	南 博史	当館学芸員		「古代メキシコ・オルメカ文明展」展示解説
9.17/24	南 博史	当館学芸員		「古代メキシコ・オルメカ文明展」展示解説
9.25	植山 茂	当館学芸員	京の秋のまつり	歴史常設展展示解説
10.9	渡辺 晋輔	国立西洋美術館主任研究員	バロック期のローマとナポリの絵画	「カポディモンテ美術館展」記念講演会
10.16	西山 剛	当館学芸員	秀吉の頃の京都	歴史常設展展示解説
10.22	市川 彰	当館学芸員		「カポディモンテ美術館展」展示解説
11.6	中野 京子	早稲田大学講師	カポディモンテ美術館にみる怖い絵	「カポディモンテ美術館展」記念講演会
11.12	市川 彰	当館学芸員		「カポディモンテ美術館展」展示解説
11.19	市川 彰	当館学芸員		「カポディモンテ美術館展」展示解説
11.20	植山 茂	当館学芸員	平安京から京都へ	歴史常設展展示解説
12.1	藤本 孝一	龍谷大学客員教授	平安京と文化財	歴史展示室「ラストトークライブ」
12.2	野口 実	京都女子大学教授	歴史展示『武者の世に』の構想	歴史展示室「ラストトークライブ」
12.3	土橋 誠	京都府立総合資料館	十二単と仮名	歴史展示室「ラストトークライブ」
12.3	横山 和弘	当館学芸員	埋納銭 中世京都の証言者	歴史展示室「ラストトークライブ」
12.4	西山 剛	当館学芸員	洛中洛外図屏風に見る商人達	歴史展示室「ラストトークライブ」
12.4	片岡 肇	元 当館学芸第二課長	法住寺殿跡出土鍬形について	歴史展示室「ラストトークライブ」
12.4	南 博史	当館学芸員	ぶんばくの展示はこう変わる	歴史展示室「ラストトークライブ」
12.5	大塚 活美	京都府立総合資料館	京のまつり	歴史展示室「ラストトークライブ」
12.5	山田 邦和	同志社女子大学教授	歴史展示にみる京都都市史	歴史展示室「ラストトークライブ」
12.5	植山 茂	当館学芸員	復元模型のたのしみ	歴史展示室「ラストトークライブ」

2) 音楽会

V-2 講演会・音楽会 ▶ 2) 音楽会

① 京都文化博物館音楽会シリーズ「歴史と共に〈音楽〉を楽しむ」

主催：京都文化博物館

後援：京都文化博物館友の会

協賛：吉忠株式会社

協力：アマデウス音楽事務所

企画・解説：岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事)

【歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・XIX『20世紀の歩みと地域の拡大』 バルトーク】

第4夜	弦楽四重奏の魅力の多様化	2010年4月2日	88名
お話	岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授)		
演奏	日比 浩一(ヴァイオリン1)/馬淵 清香(ヴァイオリン2)/竹内 晴夫(ヴィオラ)/日野 俊介(チェロ)		
曲目	ドホナーニ：弦楽四重奏曲 第2番 コダーイ：セレナード へ長調 バルトーク：弦楽四重奏曲 第4番		
第5夜	オーケストラの20世紀への推移	2010年6月11日	62名
お話	岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授)		
演奏	藤満 健(ピアノ)		
曲目	バルトーク：舞踏組曲 バルトーク：中国の不思議な役人 バルトーク：管弦楽のための協奏曲		
第6夜	魂の歌	2010年8月27日	92名
お話	岩淵龍太郎(京都市立芸術大学名誉教授)		
演奏	田辺 良子(ヴァイオリン)/富岡 順子(ピアノ)/斎藤 健寛(チェロ)		
曲目	バルトーク：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第2番 コダーイ：ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲 Op.7 バルトーク：ラプソディ 第1番		

V-2 講演会・音楽会 ▶ 2) 音楽会

② 祇園祭協賛事業：宵山ミュージアムコンサート

【第21回宵山に箏曲を聴く夕べ】

日時：2010年7月16日(金)

午後4時30分～6時/午後7時～8時30分

主催：京都文化博物館

会場：京都文化博物館 別館ホール

演奏：生田流宮城社麗調会社中(箏曲演奏)

入場者数：650人

【祇園祭ミュージアムコンサート】

日時：2010年7月17日(土)正午～午後8時

7月18日(日)午後1時～8時

主催：京都文化博物館・京の三条まちづくり協議会

会場：京都文化博物館 別館ホール

入場者数：4,774人

演奏者：

a. 7月17日

アールグレイ〈Jポップス〉

花とおじさん〈60年代オールディーズ〉
ロスアモーレス〈ラテンアメリカ音楽〉
THE JUKE BOX〈オールディーズ、ポップス〉
サントロペーの仲間たち
 〈シャンソン、カンツォーネ、ラテン〉
くろじん↑〈アコースティック、ポップス〉
Bonappetit (ボナペティ)
 〈MPB、ブラジルポップス〉
LASSiE (ラッシー)
 〈オールドタイムミュージック〉
ヒミツの京子ちゃんバンド〈ポップス〉
Purities(ピュリティーズ)
 〈フォークソング、スタンダード等〉

b. 7月18日
Cats and Doll〈ジャズコンボ〉
モアニアラ フラ スタジオ&ルアナ
 〈ハワイアン、フラ〉
Cabbage Down(キャベツダウン)
 〈カントリー&ポップス〉
Drakskip(ドレクスキップ)
 〈オリジナル、北欧音楽〉
ニューサウンズ・コンボ〈ジャズ〉
タンゴ・グレリオ〈タンゴ〉
J・Pickers〈アメリカン・フォークソング〉
ニューシャープハードオーケストラ
 〈ジャズ、ポップス、ラテン等〉

V-2 講演会・音楽会 ▶ 2) 音楽会

③その他の館主催コンサート

【オータムミュージアムコンサート】

日時：2010年11月13日(土)、14日(日)

午後1時～7時

会場：京都文化博物館 別館ホール

入場者：2,080人

演奏者：

a. 11月13日

NEO TRADITIONAL MUSIC【しき】

 〈ギター・ヴォーカル&オカリナ〉

テオフィール室内合奏団〈室内楽〉

Grand Chariot〈フルートアンサンブル〉

アンサンブル・セリオソ〈弦楽アンサンブル〉

ピープルパイパー 〈フルートアンサンブル〉

Duo Feder(小澤まり子・山本惇加)〈ピアノ連弾〉

b. 11月14日

和紗(京都国文祭メッセージソングシンガー)

三匹の子豚〈アコースティック〉

Drakskip〈北欧伝統音楽〉

くろじん↑〈アコースティック〉

Eureka〈タンゴ・バイオリンデュオ〉

澤田よしひろ〈フォーク〉

満月堂〈フォーク〉

V-3 資料・情報公開

1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約74,890冊、逐次刊行物約3,050タイトル(72,180冊)を収蔵している。中でも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約32,230冊、展覧会図録が約12,610冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は、3,410件であった。

2) 文化情報コーナー

1階の文化情報コーナーでは、京都府内を中心とする美術館・博物館などの文化施設から送られてくるチラシやリーフレットなどを置いて、来館者が自由に持ち帰ることができるようにするとともに、近畿の歴史文化についてのDVDによる動画情報の「歴史街道－ロマンへの扉」を設置して、来館者に情報を提供している。また、NTTの無線LANスポットの設置場所にもなっている。

3) ホームページによる広報とコンテンツの提供

当館に於けるwebサイトの運用は、2005年6月に現在のデザインを導入して以来、随時、改良とページの追加などを行い、アクセス数を増やしてきた。2010年度は12月より休館しているにも関わらず、サイトを公開して以来最高のアクセス数となった。特別展全体においては前年の約1.5倍に伸び、映像ホールも年々アクセス数を増やしている。

【ホームページの利用状況】

2010年度	総数	一日平均
アクセス数	580,722	1,591
ページビュー	1,442,831	3,953
内訳上位		
1. トップページ	424,242 (29%)	
2. 特別展	237,630 (16%)	
3. 地図・交通案内	87,636 (6%)	
4. 特別展スケジュール	68,081 (5%)	
5. 映像ホール	67,190 (5%)	

V-4 学習普及活動

1) 「ぶんぱく子ども教室」事業

従来は、京都文化博物館学習普及ワーキングチームが主体となって行ってきたが、今年度から組織された学習普及・外部連携室(室長：南博史)が中心となって活動を行った。また、リニューアル工事のため博物館を使った活動は12月までとなった。なお、ぶんぱく子ども教室活動の目的は以下の3つである。

- 1.ぶんぱくをとおして京都の町を知ろう。
- 2.ぶんぱくをとおしていろいろな世界を知ろう。
- 3.ぶんぱくを知ろう。

今年度も地域の方々に参加いただく実行委員会を設立し、地域と一体となって年間を通して子どもに安全な地域づくり、京都文化に対する子どもの関心を高める活動を行った。

委員会：西嶋直和(代表)、河野泰、長谷川忠夫、西村祐一、麻野博司

担当：学習普及・外部連携室チーム(南博史、洲鎌佐智子、森木礼子、高桑鉄則、田中真希代)

V-4 学習普及活動 ▶ 1)「ぶんぱく子ども教室」事業

①一般募集活動

【夏休み子ども企画『教えて考古学』】(8月8日)

概要：「古代メキシコ・オルメカ文明展」と特別陳列コーナーの見学の後、歴史展示室にて考古学レクチャーを受け、縄文晩期の土器の復元作業を体験。

担当：南博史(当館学芸員)

参加者数：小学生2名、中学生3名

【春休みアニメーション製作ワークショップ】

(3月26～28日)

概要：アニメーション作家の指導のもと、グループに分かれてアニメーション作品を製作。

主催：NPOキダーフィルムフェストきょうと

参加者数：10名

【博物館でアート～わたしたちのオルメカ文明展～】

(8月29日)

概要：実大のオルメカヘッドのベースに新聞紙を自由にはりつけて完成。また、プラスチックコップをベースに紙粘土などを使って自分だけのオルメカヘッドを製作。

講師：増野智紀氏(造形作家)

参加者数：小中学生22名、保護者16名

【「探検！映画の博物館」】(11月13日)

概要：映像ホール・ギャラリー、フィルム収蔵庫の見学。映写機・映画づくり体験。

担当：森脇清隆(当館学芸員)

参加者数：小学生12名



「博物館でアート～わたしたちのオルメカ文明展～」の様子

②連携事業

【京の次世代文化お手伝い体験事業(京都市事業)への協力】

「館内ぐるぐる探検ツアー」

・京都市立小栗栖小学校より(10月29日)

参加者数：生徒60名

【京都市立御所南小学校「御所南コミュニティ」との連携】

「2階歴史展示体験『教えて考古学』(11月20日)

会場：高倉小学校音楽室

講師：南博史

参加者数：児童28名

【京都市立高倉小学校「スマイル21プラン」との連携】

親子で楽しむ「わらべうたあそび」(2月11日)

会場：高倉小学校音楽室

講師：高橋美智子(アイリス音楽院院長)、

藤田加代(京都教育大学講師)

協力：平井恭子(京都教育大学准教授)

参加者数：児童14名、保護者7名

③展覧会関連事業(ワークショップ)

【「古代メキシコ・オルメカ文明展」関連事業】

〔1〕「わたしだけの『オルメカヘッド』づくり」

石膏でつくったミニオルメカヘッドに、自由に着色するワークショップ。

日時：会期中の土日祝(計20日間)

午前10時～午後5時

場所：4階小展示室

参加費：500円

参加者数：459名

〔2〕「五感で楽しむ古代メキシコ」

・古代オルメカクイズに挑戦

・ぬり絵&ぬり絵展示コーナー

・「変身!ジャガー王」かぶり物をつけて記念撮影

※展覧会会期中、毎日開催(参加無料)

2) 生涯学習ボランティア

【MOKの会】

当館の生涯学習ボランティアは、京都府長寿社会政策室が生涯学習の振興を図るため、京都府の文化施設にボランティアを導入するよう呼びかけ、これに応じて平成6年4月15日に英語ボランティア・グループ「MOKの会」を結成した。以後、外国人の入館者を対象に、2階常設展示室(歴史展示室)において英語によるガイドとしてサービスを実施。また、「MOKの会」の行事として総会・例会・研修会などを通じ、会員の研鑽に努め独自の活動を行ってきた。

この度、館のリニューアルに併せ新ボランティア制

度を発足する事となり、「MOKの会」の活動は本年度が最後となった。

〔1〕2010年度の役員(会員数31名)

会長：森原勝司

副会長：内藤純子(会計)

副会長：内藤陽子(庶務)

〔2〕2010年度の活動

2010年4月10日 2010年度総会

6月12日 6月例会

6月14日 平成22年京都府生涯学習文化施設ボランティア連絡会

7月23日 国際交流基金団体案内

9月11日 9月例会

- ・博物館からリニューアルの現状と今後についての報告。

9月18・19日 SKYふれあいフェスティバル

2010参加。展示及び問題提出。

10月17日 アジア福祉財団団体案内

11月11日 11月例会

- ・博物館からリニューアルの現状と今後についての報告。

2011年1月8日 1月例会

- ・精算事項及び今後についての協議。

【新ボランティア制度の発足に向けて】

2011年7月のリニューアルオープンに伴う新ボランティア制度の発足に向け、活動内容の検討とそれに基づく募集を行った。

ボランティアにご協力いただく業務として、①2階総合展示室の展示案内(日本語、英語、その他の言語)、②ワークショップなどのイベントサポート業務、の2部門を設定し、チラシ・ホームページ等で募集した結果、2011年1月4日～2月28日までの間に、募集定員80名のところ263名の応募があった。

2011年4月より、研修および選考を行っていく予定である。

3) 団体見学案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、常設展示、特別展等の解説に応じている。2010年度の来館件数は171件であった。このうち解説を行ったのは、69件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われることが主体で、全体の3割をしめるが、各種の文化サークル

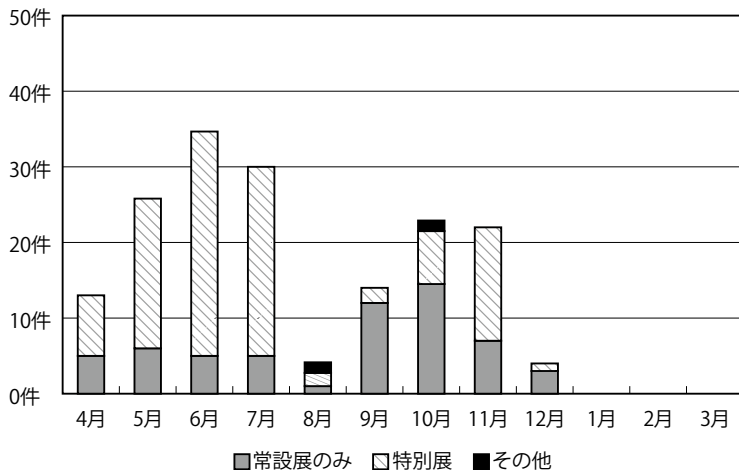
や団体旅行での訪問も多い。学校の区分では中学校が一番多く、大学、高校、がつづく。

本年度はリニューアル工事に伴い、12月5日(日)をもって館が閉館となった。その為、12月の団体見学数は少なくはあったが、それ以外の5月、6月の団体見学数が非常に沢山あったこともあり、前年度より約40件(約1000人)多い利用数であった。

【2010年度団体見学案内件数】

10年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	489	1031	1103	946	202	512	983	886	189	—	—	—	6341
来館件数	13	26	35	30	4	14	23	22	4	—	—	—	171
解説件数	6	9	11	9	3	9	9	13	0	—	—	—	69

【月別申込み件数】



【団体種別件数】

団体	件数
小学校	3
中学校	21
高校	14
専門学校	0
大学	16
支援学校	8
一般	109
合計	171

V-5 外部連携活動

1) 他館との連携

V-5 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

①京都市内4館連携

平成21年度に京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市美術館、京都文化博物館の4館による連携協力及び館運営にかかる情報交換を円滑に行う目的で、京都市内4館連携協力協議会「京都ミュージアムズ・フォー」が発足した。

平成22年度は、「京都ミュージアムズ・フォー連携

講座」(年間4回、各館持ち回り)を開催し、当館では5月29日(土)に「冷泉家 王朝の和歌守展」記念講演会〔「冷泉家と京都～定家の歩いた京のまち～」講師：横山和弘(当館学芸員)〕を行った。さらに、4館合同で、各館の年間スケジュールを掲載したリーフレットの作成、また各館友の会相互割引制度を開始した。

V-5 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

②事業協力

【「関西文化の日」事業への連携】

関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会主催の本事業に、11月20日(土)、21日(日)の両日協力した。常設展を無料開放し、2日間で647人(20日：356人、21日：291人)の方々にお越しいただいた。

【「ミュージアムぐるっとパス関西2010」への参加】

関西の2府4県(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山)の合計67施設(2009年度は64施設)で利用が可能な「ミュージアムぐるっとパス関西2010」事業に参加し

た。主催は前述の67施設で組織する「ミュージアムぐるっとパス関西2010」実行委員会である。1冊1,000円で販売するパスを購入すると、最初の利用日から3ヶ月間(2005年度までは2ヶ月間)、対象施設で入場が無料となるなど様々なサービスが受けられる。また、今年度から1冊2,000円で利用期間を6ヶ月に拡大したプレミアム版の冊子も新しく発売した。当館については、常設展が無料、特別展が前売券料金となる特典を設定した。2010年度の当館での利用者数は、常設展255人、特別展328人であった。

2) 地域との連携

【「きものの似合うまち・京都」づくり推進事業への協力】

今年も昨年に引き続き、10月1日(金)から12月25日(土)まで、本事業への協力を行った。期間中には、和服姿の来館者が増加し、本事業の定着と着実な効果を感じられる。

本事業は、京都府、京都市、京都商工会議所、財

団法人 京都和装産業振興財団、京都織物卸商業組合、西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、西陣織物産地問屋協同組合、京染卸商業組合の9団体で構成する「きものの似合うまち・京都」実行委員会の主催事業であり、2001年度から始められたものである。

当初は、着物での来館者に対する割引制度であったが、2003年度からは、「きものパスポート」持参のき

もの着用者は特別展、常設展とも入場料無料、同伴者は20%割引と、サービス内容が充実した。しかしながら、平成2006年度からは、常設展入場料は引き続き無料であるが、特別展入場料については割引(2006年度は2割引、2008年度からは前売料金割引)となりサービス内容が若干変更されている。利用者数は、特別展への入館者は140人、常設展利用者はなかった。

映像ホールでは、「キモノ大正ロマン—鈴木清順監督作品に舞う着物」と題して本事業に協賛して映画の上映を行った(10月14日～17日)。

【「まちなかを歩く日」への参加と協力】

地域住民・団体が中心となってすすめている「歩いて暮らせるまちづくり推進会議」(2000年7月設立)が今年11年を迎えた。活動趣旨の啓発と普及を図るために11月に地域全体で開催する今年の「まちなかを歩く日」は、「まちなかを歩く日2010」として、11月13(土)・14日(日)を中心に、京のまちなか9元学区(城巽、龍池、本能、明倫、初音、柳池、日彰、生祥、立誠)でさまざまな活動が行われた。

当館が主催・協力した活動(テーマ:三條高倉まちかどミュージアム、ぶんぱくの秋はイタリア色～ナポリ・カポディモンテ美術館展関連企画～)、および関連催事は以下のとおりである。

〔1〕主催事業

a. 三條高倉まちかどミュージアム

期間:11月6日(土)～21日(日)

〈ぶんぱく おこしやすフリーマーケット〉

・高倉通に沿って館員が中心となったフリーマーケットを展開した。(11月7日)

〈三條高倉まちかどミュージアム〉

・昨年に続いて2回目の開催。お店の名品やまちかど写真パネル、駒札をまちなかに展示した。(11月6日～14日)

〈駒札クイズラリー〉

・まちかどミュージアムによって設置された駒札を利用。(11月6日～14日)

〈「関西文化の日」京都文化博物館常設展示室 無料公開〉(11月20日・21日)

b. ぶんぱくの秋はイタリア色

～ナポリ・カポディモンテ美術館展関連企画～

〈イタリア物産会〉(11月13日・14日)

〈イタリア・フォデッラ財団制作「カラバッチョ

～音楽と舞踏～」映写と講演〉(11月17日)

講演:ルイジ・ロマーニ

(イタリア文化会館大阪館長)

〔2〕協力事業

a. 別館前総合情報拠点設置(11月13・14日)

b. 写真展示「京町家の再生」

～ワールド・モニュメント財団支援～

(11月12日～21日)

主催:京町家再生研究会、京都市景観・まちづくりセンターなど

会場:12日=別館ホール、13～21日=別館入口ホワイエ

c. Museum Café「soboro」ナイト(11月12日)

会場:別館前カフェ「soboro」

〔3〕関連催事

「オータム・ミュージアム・コンサート」

(11月13・14日)

【京都市本能特別養護老人ホームでの出前講義】

社会福祉法人京都福祉サービス協会高齢者福祉施設「本能」からの協力依頼を受け、「京都の風土や歴史を楽しむための企画」出前講義。昨年度に引き続き本年度は3回開催した。

実施日:2010年6月15日(火)、8月10日(火)、11月24日(水)

参加者:施設入居およびサービス利用者約30名

テーマ:まちの歴史を学ぶ

・京都の身近な話題をテーマに、利用者から提出してもらった写真をつかった回想法によるワークショップを開催した。

講演者:南 博史

【三條高倉まちかどミュージアム】

期間:11月6日(土)～14日(日)

会場:京都文化博物館周辺、三條通り(寺町～堀川間)を中心とした8元学区(生祥・日彰・明倫・本能・柳池・初音・龍池・城巽)内の店

舗、施設など

内容：①まちなかのお店前に「お宝」や「道具」「思い出の品」などを展示②まちの思い出を写真パネルにしてまちなかに展示③まちの歴史や文化を「駒札」にしてまちなかに展示
※これらを掲載したマップでまちなかを回遊

し、まちの魅力を再発見してもらう活動。歩いて暮らせるまちづくり推進会議、京の三条まちづくり協議会、三条通りを考えよう会、明倫まちづくり委員会、本能まちづくり委員会など地域の方々の協力をえた。

参加者数：のべ約9,000人

V-6 博物館実習

【実施期間】

2010年8月3日(火)～8月6日(金)

【実習生】

京都府立大学…………… 4名
立命館大学…………… 4名
京都造形芸術大学…………… 2名
京都外国語大学…………… 2名
京都女子大学…………… 1名
滋賀県立大学…………… 1名
摂南大学…………… 1名
鳥取大学…………… 1名
立教大学…………… 1名
都留文科大学…………… 1名 (計18名)

【実習内容／担当者】

- ・博物館の概要・館内見学／植山 茂・畑 智子
- ・美術資料について／市川 彰
- ・工芸品について／洲鎌佐智子
- ・染織品について／林 智子
- ・文献資料について／横山 和弘
- ・考古資料について／植山 茂
- ・民俗資料について／植山 茂
- ・学習普及活動参加／南 博史
- ・映像資料について／森脇 清隆
- ・まとめと反省／全担当学芸員

V-7 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

1) 会 員

【会員の特典】

- ・ 会員証で特別展・常設展(映画鑑賞含む)の無料での鑑賞
- ・ 会員同伴者5名様まで入場料20%割引
- ・ 当博物館発行の出版物の割引
- ・ 友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・ 催事案内や各種行事案内等の送付
- ・ 当館会員証で京都国立博物館、京都国立近代美術館、京都市美術館の特別・常設展が団体料金に割引

【会費】

- ・ 個人会員：年会費6,000円
- ・ グループ会員(2名以上)：年会費5,000円

【会員の概要】

昨年に引き続き会員数の減少が見られ、会員数が過去最低となった。しかし、継続手続きを行った会員は前年とほぼ同数であり、期限延長による自動更新を除いても更新率は前年度並みを維持している。この事から会員数の減少は、博物館のリニューアル工事による全館休館(2010年12月～2011年7月初旬)に伴う新規入会の減少と、平常から流動的に入退会を繰り返す会員が継続手続きをしなかった事が原因と考えられる。

会員構成も例年と大きな違いはなく、安定しているが、高齢化は緩やかに進行し続けている。

文化講座・見学会は、例年規模に開催数を戻せた事に加え、リニューアル休館による会員離れを防ぐ為のイベントにより、回数が大幅に増えている。

●会員数の推移

(単位：名)

	2010年度	2009年度	2008年度
個人	435	482	521
グループ	160	171	192
計	595	653	713

●新規加入者数 (単位：名)

個人	63
グループ	19
計	82

●職業

(単位：名)

会社員	88
公務員	13
教員	15
自営業	44
自由業	14
学生	4
その他	21
無職	396

●男女構成

男性	59%
女性	41%

●年齢分布 (単位：名)

10代	0
20代	5
30代	17
40代	41
50代	74
60代	201
70代	185
80代	66
90代以上	5
不明	1
最高齢	98歳
平均	66.28歳

●住所分布 (単位：名)

京都市内	420
京都府内	57
近畿圏内	109
その他の府県	7

(近畿県内の内訳)

大阪府	61
兵庫県	20
滋賀県	19
奈良県	8
和歌山県	1
計	109

2) 事業概要

V-7 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

①文化講座

【特別展「古代メキシコ・オルメカ展」関連事業】

文化講座「古代メキシコ・オルメカ文明展」と
コンサート観賞「マリアッチ～メキシコ音楽を楽し
む～」

日時：2010年8月7日(土)

場所：別館2階講義室および別館ホール

講師：南 博史(展覧会担当学芸員)

出演：三品 國男&マリアッチニッポン

参加者数：24名

【特別展「カポディモンテ美術館展」関連事業】

文化講座「カポディモンテ美術館展」

日時：2010年10月16日(土)

場所：3階 映像ホール

講師：市川 彰(展覧会担当学芸員)

参加者数：26名

V-7 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

②見学会

【特別展「龍馬伝展」関連事業】

見学会特別企画「龍馬の眠る東山を訪ねて」

日時：2010年7月10日(土)

場所：幕末維新ミュージアム 霊山歴史館・霊山
護国神社

講師：木村 武仁氏(霊山歴史館学芸員)

参加数：18名

【見学会「友の会 別館ガイドツアー」】

日時：2011年2月26日(土)

午前10時半～、午後1時～、午後3時半～

場所：別館

講師：植山 茂(当館学芸員)

参加者数：80名

Ⅵ. ギャラリー事業

Ⅵ-1 5・6階展示室

1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都市立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名(染織・陶芸・木工芸各1名)、書2名(仮名・漢

字各1名)、写真1名の計13名で、展示室の使用を希望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2010年度の委員会は以下のとおり開催した。

【開催日一覧】

委員会開催日	審議対象期間	件数
2010年7月1日	2010年12月～2011年3月	1
2011年3月4日	2011年7月～2011年11月	21

2) 美術・工芸作家の利用

当館では、開館以来5階展示室に、また6階においては1997年7月より美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を原則として毎月21日から月末の前日までと定め、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品

は、絵画・彫刻・工芸・書・デザイン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2010年度の利用件数は、32件であった。

【作家利用一覧】

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
2010 4.21～4.25	第34回 日本画春季光玄展	日本画	6.25～6.27	丹後 宮津焼 島村佳 40年記念陶展	陶芸
4.21～4.25	第23回 面風會展 能面・狂言面	諸工芸	7.6～7.11	京の歳時記 祇園祭 湯浅三郎<和紙はり絵展>	諸工芸
4.21～4.25	第21回 蒼龍展	書	7.14～7.19	2010 京都日本画家協会選抜展	日本画
4.28～5.2	大塚亮治 面展	諸工芸	8.25～8.29	第29回 六藝会篆刻作品展附陸人聯	書
4.29～5.2	前田正志 キモノと判画展	染織	8.25～8.29	第15回 ファインド・アイ 現代・文人光画展	写真
5.4～5.8	森伸子・藪内玲子 水彩画小品展	洋画	9.22～9.26	第21回 光風工芸「明日へのかたち展」	工芸総合
5.19～5.23	2010 Dayton/ 京都交流版画展	洋画	9.22～9.26	第11回 dpi 展	美術総合
5.19～5.23	第23回 京都書作家協会会員展	書	10.20～10.24	平成22年度 京の名工展 併催 若手職人「京もの認定工芸士」作品展	工芸総合
5.26～5.30	第18回 光勲能面會展	諸工芸	10.26～10.31	出口育子個展 龍の卵	洋画
5.26～5.30	第65回 京都丹平写真展	写真	10.27～10.31	第16回 面法會展 能面・狂言面	諸工芸
5.27～5.30	京都創造藝術協會展	美術総合	10.27～10.31	第30回 平安書道会聚英展	書
5.26～5.30	喜寿記念 西川白悠展	書	10.27～10.31	日本画 山口守展	日本画
6.8～6.13	展・22	日本画	10.28～10.31	第4回 書の森展	書
6.15～6.20	第3回 The NIHONGA 一伝統と創造一	日本画	11.24～11.28	第22回 工芸美術 創工会展	工芸総合
6.15～6.20	第2回 『独楽の会』日本画作品展	日本画			
6.23～6.27	第14回 種々展	日本画			
6.23～6.27	芽生展	日本画			
6.23～6.27	第2回 洛展	日本画			

計 32件 (80日間) 30,305人

【作家利用分野別件数・入場者数】

	美 術						工 芸				美術 工芸 総合	総 計
	日本画	洋 画	書	写 真	彫 刻	美術 総合	染 織	陶 芸	諸工芸	工芸 総合		
使用件数	9	3	6	2	0	2	1	1	5	3	0	32
割合 (%)	28%	9%	19%	6%	0%	6%	3%	3%	16%	9%	0%	100%
入場者数	8,866	1,489	5,659	3,035	0	1,823	400	452	3,321	5,260	0	30,305
1 件平均入場者数	985	496	943	1,518	0	0	400	0	664	1,753	0	947

*美術総合には現代美術を、諸工芸には能面・人形を含む。

3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に準ずる

利用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

【生涯学習利用展覧会別入場者数一覧】

	会 期	展 覧 会 名	分 野	入場者数
5 階	2010 4. 8 ~ 4.11	華やいで春ブベドール展	諸工芸	1,099
	4. 8 ~ 4.11	異時異図 JAPAN 展—安部修二作図	洋 画	813
	4. 8 ~ 4.11	第 19 回 ふしぎな花倶楽部押花アート展	諸工芸	1,330
	4.15 ~ 4.18	第 18 回 雪秀会 能面展	諸工芸	296
	4.15 ~ 4.18	八十山雅子没後 15 周年「八十山雅子・和代展」	洋 画	366
	4.28 ~ 5. 2	大塚亮治面打教室 作品展	諸工芸	507
	4.29 ~ 5. 2	第 27 回 桃夭会 日本画展	日本画	463
	5.12 ~ 5.16	第 27 回 宇治市観光写真コンクール	写 真	131
	6.29 ~ 7. 4	明日をひらく絵画 第 28 回 上野の森美術館大賞展	洋 画	1,217
	8.17 ~ 8.22	京の次世代アート展	諸工芸	552
	9. 9 ~ 9.12	プレール 上田ミチヨ ソーイング教室展	諸工芸	494
	9. 9 ~ 9.12	栄美子戸田ローブとニューゼファーズキルト展	諸工芸	846
	9.17 ~ 9.20	菅原望元能面展	諸工芸	462
	9.17 ~ 9.20	2010 京都大学写真部 OB 会 第 6 回京都展	写 真	477
	9.17 ~ 9.20	萌葱会染色作品展	染織/染色	404
	10. 5 ~ 10.11	第 23 回京都美術文化賞受賞記念展 西久松吉雄・野村仁・田島征彦	(美術)総合	1,925
	10.14 ~ 10.17	早蕨会書展	書	632
	10.14 ~ 10.17	“石飛昌子と仲間たち” 和紙ちぎり絵ひまわり 第 20 回京都展	諸工芸	690
	10.15 ~ 10.17	彩素会 絵更紗展	染織/染色	452
	11. 2 ~ 11. 4	有岡由利子パッチワークサークルキルト展	諸工芸	1,102
	11.18 ~ 11.21	QUILT HOUSE あんだんて	諸工芸	2,898
計 21 件 使用日数：91 日				17,156

	会 期		展 覧 会 名		分 野	入場者数
6階	2010	4. 6 ~ 4.11	絹の輝き一色名をたずねて一玉村詠展		染織／染色	470
			体験学習「絵付け」		その他	90
			平成 22 年染織光悦會展		染織／染色	293
		4.24 ~ 4.25	霞墨会書展		書	166
			体験学習「絵付け」		その他	220
			体験学習「絵付け」		その他	161
		6. 3	体験学習「絵付け」		その他	260
			7.23 撮影（北村武資）		その他	10
		7.30 ~ 8. 1	(財)片山家能楽・京舞保存財団 第 14 回能装束・能面展		(工芸)総合	1,037
			8. 8 撮影（安部洋二）		その他	10
		9.18 ~ 9.20	青春の 1 ページ・ART ZONE KYO ～飛び出せ！高校生の情熱～		(美術)総合	1,407
		10.20 ~ 10.21	第 38 回シニア大学学園文化祭		(美術)総合	399
		11.13 ~ 11.14	叡山学院墨跡展		書	209
		11.13 ~ 11.14	第十三回竹心展		書	332
		11.19 ~ 11.21	第 48 回龍門社選抜書道展		書	865
		11.27 ~ 11.28	宏志会書展		書	342
		計 16 件 使用日数：32 日				

【生涯学習利用分野別件数・入場者数】

	和装 呉服	美 術							工 芸					美術 工芸 総合	総計	
		日本画	洋 画	書	写真	その他	美術 総合	小計	染織	陶芸・ 金・竹・ 漆	諸工芸	工芸 総合	小計			
5階	件数	—	1	3	1	2	0	1	8	2	0	11	0	13	0	21
	日数	—	4	14	4	9	0	7	38	7	0	46	0	53	0	92
	人数	—	463	2,396	632	608	0	1,925	6,024	856	0	10,276	0	11,132	0	17,156
6階	件数	—	0	0	5	0	6	2	13	2	0	0	1	3	0	16
	日数	—	0	0	11	0	6	5	22	7	0	0	3	10	0	32
	人数	—	0	0	1,914	0	751	1,806	4,471	763	0	0	1,037	1,800	0	6,271

※ 6階「その他」は体験学習等。

4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展示会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

【一般利用分野別件数・入場者数】

場所		和装 呉服	染織	美術	工芸	その他	計
5階	件数	5	—	4	5	—	14
	日数	9	—	10	13	—	32
	人数	700	—	2,482	5,635	—	8,817
6階	件数	11	—	—	—	—	11
	日数	21	—	—	—	—	21
	人数	1,900	—	—	—	—	1,900

*美術：日本画、洋画、書、写真など

*工芸：陶芸、金工、竹工、漆芸、諸工芸など

VI-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会、古本市等の商業催事から結婚式まで様々な催事の利用に供している。

ン、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会、古本市等の商業催事から結婚式まで様々な催事の利用に供している。

【別館利用状況一覧】

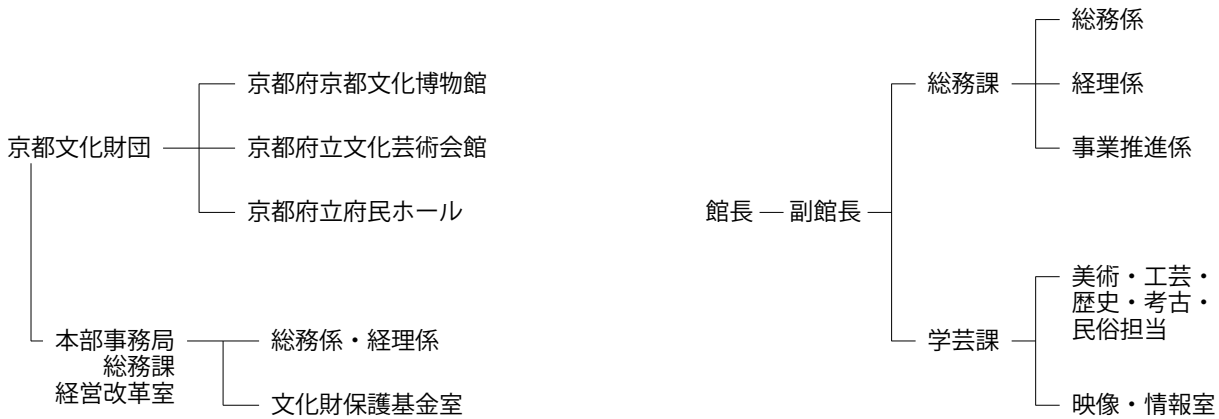
会期	展覧会・音楽会名	会期	展覧会・音楽会名
2010.4. 3	ウエディング	8.21	みかとやすワンマンライブ “握手 10”
4. 4	ウエディング	8.22	シンポジウム「未来への提言－石油高騰時代の暮らし－」
4.10	室内楽の楽しみ ふたたび…	8.29	南丹文化ジョイントプログラム 2010 「なんたん文化おでかけキャラバン」
4.15	体験学習「京舞」	9. 3	文化ベンチャーコンペティション
4.18	Nocturne (夜の音楽) ～夕暮れ、夜、あけぼの～	9. 4	御所南ヴァイオリンスクール 秋の室内楽コンサート
4.29～5. 9	「池田重子コレクション」 & 「岡重コレクション」	9. 5	～くつろぎのオカリナ・心に響くティンホイッスル～ Trio You HEARTFUL TRIO CONCERT
5.15	エマ・カークビー(ソプラノ) & ロンドンバロック シェイクスピア・イン・ラブ	9.11～12	着物に恋スル季節展
5.16	御所南ヴァイオリンスクール 春の発表会	9.18～20	京都アートフリーマーケット 2010 秋
5.20	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会	9.23	Felix 室内合奏団 第 22 回室内演奏会
5.22～23	京都文博骨董ひろば	9.25～26	京都文博骨董ひろば
5.29	平井真美子 ピアノダイアリーコンサート	9.30	京フィル室内楽コンサート vol.29「ロマンチックな室内楽」
6. 3～ 5	スノーホワイトデコラティブペイント作品展	10. 2	歌の花束
6. 6	JAZZ AT SANJYO BUNKA MUSEUM	10. 3	PIANO CONCERT 2010 ピアノの旬(じかん)アンサンブルの愉しみ
6.10	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会	10.10	ウエディング
6.12	古楽器に流れる花の音コンサート－バロックの名曲といけ花－	10.11	ウエディング
6.19～27	NHK 大河ドラマ『龍馬伝』全国巡回パネル展	10.15	TOBIRA ～若き音楽家を育てるのはあなただ～
7. 1	きょうと金管五重奏団 Concert 2010	10.16	鈴江先子オカリナ演奏活動 10 周年記念コンサート「土への祈り」
7. 2	京都文化コンペティション	10.17	第 6 回自主公演「音楽のおもちゃ箱」の仲間たち “コンサートフェア”
7. 3	千綿偉功 七夕 Special Live ～ 京都宵酔一人唄 ～	10.22～24	第 12 回アトリエエンジェル ステンドグラスランプ展
7. 4	珠玉のフランス音楽～声楽とピアノの名曲を集めて～	10.29	文化創造第 9 回室内楽のひとつき藤重典・野原みどりデュオリサイタル
7. 8～ 9	染匠フェア	10.30	竹田けい子「歌のコンサート」Vol.2
7.10	clumusica 第 3 回公演つゆのそぼふる一夏のささげものー	11. 3	梶原香織ピアノリサイタル ピアノとおしゃべりと
7.11	ソプラノとチェンバロによるバロックなタベ	11. 4	ソレイユ・ルヴァン～植野真知子と仲間たち～
7.14	栗崎ヴォーカリストスタジオ「パリ祭に歌う」夏の発表会	11. 7	オトナナデシコ～京の現代(いま)を知る～
7.15	IL CONCERTO LIRICO ～ CARMEN&TURANDOT HIGHLIGHTS ～	11. 9	シヨパン生誕 200 年記念日仏交流演奏会 II
7.19	旅する長崎学講座「龍馬が生きた時代～幕末長崎へ旅に出よう!～」	11.12	釜座町町屋修復工事完成報告会 写真パネル展
7.23	竹中真 ジャズチャリティーコンサート	11.19～21	KPA「メイキング・ワークショップ 2011」
7.24	「よりみち」コンサート Vol.10	11.23	こどもと楽しむクラシックコンサート 2010「こいぬのワルツ」
7.25	和谷泰扶(クロマチックハーモニカ) パースディコンサート	11.27	きもの文化・公開講座～美しい着物・美しいマナーのデモンストレーション～
7.28	Inter Improvisation Music Festival 2010 KAIBUTSU LIVES!	11.28	混声合唱団 Coro Piacere 第 3 回演奏会ブラームス・「ジプシーの歌」全曲ほか
7.29	水のほとりにて	12. 1	文化ベンチャーコンペティション
8. 1	3歳からのクラシック in 京都	12. 2	アストロリコ・レディース Tango Arco Iris 冬の陣 2010 ファイナルコンサート
8. 1	第 7 回 緑の街サロンコンサート in 京都 “リュートの詩人とフルートの女神のコラボレーション”	12. 3	西垣正信クリスマスコンサート
8. 2～ 3	ヴァンクオーレ	12. 4	ワルツの響宴～声楽、ピアノ、ヴァイオリンによる～
8. 4	「歴史都市・京都から学ぶジュニア日本文化検定」名人認定式・ジュニア京都観光大使任命式	12. 5	京都室内合唱団第 15 回定期演奏会 2010 クリスマスコンサート
8. 6	京都フィルハーモニー室内合奏団定期コンサート		
8. 8	ウエディング		
8.14	サクソ、ピアノ、電子音響音楽トリオコンサート		

入場者数 計 61,935 人

VII. 管理・運営

VII-1 組織と職員

1) 組織



※総務係及び経理係は京都文化財団本部総務課を兼ねる。

2) 京都文化財団

【京都文化財団役員名簿】

2011年(平成23年)3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	山田 啓二	京都府知事	理事	高階絵里加	京都大学人文科学研究所准教授
	岡本 道雄	京都大学名誉教授、前京都文化財団理事長		立石 義雄	京都商工会議所会頭
理事長	荒巻 禎一	前京都府知事、京都文化博物館館長		田中 恆清	石清水八幡宮宮司
副理事長	千 玄室	前茶道裏千家家元		野中 信夫	元NPO MCEI専務理事
	山内 修一	京都府副知事		日比野光鳳	書家
常務理事	鈴木 真咲	京都文化博物館副館長		平林 幸子	京都中央信用金庫専務理事
理事	有馬 頼底	相国寺管長		深尾 憲一	弁護士
	池坊 由紀	華道家元池坊次期家元		増田 正蔵	京都新聞社代表取締役会長
	井上八千代	京舞井上流家元		村井 康彦	京都市美術館館長
	今井 政之	陶芸家		山本 壯太	「古典の日」推進委員会ゼネラルプロデューサー
	岩淵龍太郎	京都市立芸術大学名誉教授		吉田 忠嗣	吉忠株式会社代表取締役社長
	大橋 通夫	京都府教育委員会委員長		藤井 貢	京都府文化環境部国民文化祭推進局副局長兼文化芸術室室長
	神林 恒道	大阪大学名誉教授	監事	岡田 博邦	(社)京都銀行協会専務理事
	小林 正幸	京都銀行常務取締役		光田 周史	公認会計士

3) 京都文化博物館

【京都文化博物館職員名簿】

2011年(平成23年)3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
	館長 副館長	荒巻 禎一 鈴木 真咲	館総括 館業務総括	財団理事長 2003.6～ 財団常務理事・事務局長 2006.6～
総務課	課長 参事、経営改革室長 調査役 経理係長 総務係長 主任 主事 主事 参事・文化財保護基金室長 事業推進係長 主任 主任 嘱託	塩見 康一 松尾 健一 金田 暁 森木 礼子 佐藤 幸央 杉浦美香代 奥田 紀子 西牧 朋子 松田 寛 森 雅樹 海老名和孝 高桑 鉄則 渡辺紀久子	課総括 総務係 総務係 経理係 総務係 総務係 経理係 総務係 基金事業庶務 事業推進係 事業推進係 事業推進係 事業推進係	財団本部事務局兼務 2008.4～ 財団本部事務局兼務 2010.5～ 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 財団本部事務局兼務 2010.5～ 財団本部事務局兼務 2007.7～ 財団本部事務局兼務 2008.4～ 財団本部事務局文化財保護基金室 2009.4～ 2007.4～ 2006.4～
学芸課	課長 主幹、学習普及・連携室長、主任学芸員 主任学芸員 映像・情報室長 主任学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 主査 嘱託 嘱託	畑 智子 南 博史 洲鎌佐智子 森脇 清隆 市川 彰 横山 和弘 林 智子 植田彩芳子 西山 剛 植山 茂 松岡美知世 青木 完一	課総括 歴史・考古 工芸 映像・情報 絵画 歴史・文献 染織 絵画 歴史・文献 考古・民俗 映像・情報 映像	 2008.10～ 2010.8～ 2010.8～ 2009.4～ 非常勤

VII-2 施設

1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1

設計：京都府土木建築部営繕課・株式会社久米建築事務所

施工期間：1986年10月～1988年9月

敷地面積：4,790.32㎡(別館を含む)

建築面積：3,481.04㎡(別館を含む)

延床面積：15,827.42㎡(別館を含む)

本館床面積内訳：

地階 …… 2,242.42㎡/1階 2,265.29㎡

2階 …… 1,853.39㎡/3階 1,908.79㎡

4階 …… 1,442.19㎡/5階 1,442.19㎡

6階 …… 1,218.28㎡/7階 1,010.43㎡

塔屋 …… 182.88㎡

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造/一部鉄骨造

2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル

菱屋町48番地

設計：辰野金吾・長野宇平治

施工期間：1903(明治36)年9月

～1906(明治39)年6月

延床面積：2,261.56㎡

別館構造：建築面積……819.67㎡

煉瓦造、2階建一部地下1階

スレート・銅板葺、両翼塔屋付

旧金庫構造：建築面積……187.10㎡

煉瓦造、1階建、棧瓦葺

指定：重要文化財

指定名称 旧日本銀行京都支店

指定年月日 1969年3月12日

指定書番号 建第1,708号

VII-3 館内店舗

1) ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には京料理などの飲食店、西側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店でつくる「ろうじ店舗博和会」は当館の協会会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は140,804人であった。

【ろうじ店舗一覧】

- ◆ 紙の店—楽紙館
- ◆ 京しゅみ—菰軒
- ◆ 京のエッセンス17舗名店会(順不同)
 - 薫香—松栄堂
 - 京麩—半兵衛麩
 - 念珠—福永念珠舗
 - 京菓子—鼓月
 - 京佃煮—野村
 - 宇治茶—福寿園

京扇子—とくの
八つ橋—井筒八ツ橋
京小間物—光悦
京風雅便箋—表現社
縮緬小物—くろちく
竹の匠—高野竹工

京象嵌—川人象嵌
京の雅—古澤仙壽堂
野菜せんべい—京煎堂
化粧小物—左り馬
京つけもの—西利

- ◆ 町家料理 鳥彌三—あざみ
- ◆ 手打ちそば・蕎麦料理—有喜屋
- ◆ ゆば・とうふ料理—雪乃本舗 有福
- ◆ エスプレッソコーヒー—コロラドコーヒー
- ◆ 京・嵐山上流の蔵—京丹山
- ◆ 京の若手職人工房—粋匠
- ◆ ミュージアムショップ—便利堂
- ◆ 珈琲サロン(別館)—阿蘭陀館

2) 別館店舗

【別館店舗一覧】

- ◆ Contemporary Art JARFO京・文博
- ◆ アートギャラリー arton
- ◆ 和小物—くろちく
- ◆ Social Design Café soboro

3) 博和会・ろうじ行事

【博和会行事】

区 分	名 称	月 日
ろうじ祭	春期来客者増大キャンペーン第1弾(冷泉家)	2010年4月17日～25日
	春期来客者増大キャンペーン第2弾(龍馬伝)	6月19日～27日
販売促進活動	割引券(100円)の配布	8月13日～9月26日

【ろうじ店舗東側通路の利用状況】

区 分	名 称	月 日
博和会催事	京扇子とくの	2010年6月19日～7月19日

VIII. 2010(平成22)年度 のあゆみ

※事項欄の「MH」は映像ホール、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事 項	
2010年4月 2日	音楽会〈20世紀の歩みと地域の拡大バルトーク 第4夜〉	(AH)
4月 3日	歴史常設展展示解説	(横山／2階)
4月 6日	歴史展示室特別陳列「原在中『西湖図』と竹内栖鳳『群仙図』～修復事業成果報告をかねて～」	(～5月9日／2階)
4月10日	MOKの会 2010年度総会	(7階サロン)
4月17日	「冷泉家時雨亭叢書完結記念 冷泉家 王朝の和歌守展」開催	(～6月6日／4・3階)
4月24日	「冷泉家 王朝の和歌守展」記念イベント(「和歌をうたう～披露～」)	(冷泉貴実子／AH)
4月25日	「冷泉家 王朝の和歌守展」関連イベント(『街かど古典カフェ』特別講座)	(小林一彦・冷泉貴美子／AH)
4月29日	「冷泉家 王朝の和歌守展」記念講演会	(冷泉貴実子／MH)
4月30日	「冷泉家 王朝の和歌守展」ギャラリートーク	(横山／4・3階)
5月 1日	「冷泉家 王朝の和歌守展」記念講演会	(田中登／MH)
5月 7日	「冷泉家 王朝の和歌守展」ギャラリートーク	(横山／4・3階)
5月 8日	「冷泉家 王朝の和歌守展」記念講演会	(赤瀬信吾／MH)
5月11日	歴史展示室特別陳列「重要文化財『善女龍王像』～寄託の優品から～」	(～6月6日／2階)
5月15日	「冷泉家 王朝の和歌守展」記念講演会	(冷泉為人／MH)
5月16日	「冷泉家 王朝の和歌守展」関連イベント(「お香ワークショップ」)	(山田松香木店／AL)
5月21日	「冷泉家 王朝の和歌守展」ギャラリートーク	(横山／4・3階)
5月22日	「冷泉家 王朝の和歌守展」記念講演会	(藤本孝一／MH)
5月29日	「冷泉家 王朝の和歌守展」記念講演会	(横山／MH)
5月29日	歴史常設展展示解説	(四代目森本安之助・南／2階)
6月 4日	「冷泉家 王朝の和歌守展」ギャラリートーク	(横山／4・3階)
6月 8日	歴史展示室特別陳列「八幡山保存会所蔵『光琳百花図屏風』～京のまちなかの優品～」	(～7月4日／2階)
6月11日	音楽会〈20世紀の歩みと地域の拡大バルトーク 第5夜〉	(AH)
6月12日	MOKの会 6月例会	(7階サロン)
6月17日	「特別展 龍馬伝」記念映画上映(「坂本龍馬と幕末青春群像」)	(～8月1日／MH)
6月19日	「2010年NHK大河ドラマ 特別展 龍馬伝」開催	(～7月19日／4・3階)
6月19日	京都の美術・工芸展「新収蔵記念 伊東慶陶展～白磁に魅せられて～」開催	(～7月19日／3階)
6月19日	博和会「京扇子とくの」	(～7月19日／ろうじ)
6月26日	「特別展 龍馬伝」記念講演会	(宮川禎一／MH)
6月26日	歴史常設展展示解説	(植山／2階)
7月 2日	「特別展 龍馬伝」ギャラリートーク	(横山／4・3階)
7月 3日	「特別展 龍馬伝」記念講演会	(木村幸比古／MH)
7月 6日	歴史展示室特別陳列「青森県石亀遺跡出土の縄文晩期の遺物」	(～9月20日／2階)
7月 9日	「特別展 龍馬伝」ギャラリートーク	(横山／4・3階)
7月10日	友の会見学会「見学会特別企画『龍馬の眠る東山を訪ねて』」	(木村武仁)
7月11日	「特別展 龍馬伝」記念イベント(「龍馬ゆかりの幕末京都を歩く」)	(木村武仁)
7月16日	祇園祭協賛事業「第21回 宵山に箏曲を聴く夕べ」	(AH)
7月17日	歴史常設展展示解説	(横山／2階)
7月17日	祇園祭協賛事業「祇園祭ミュージアムコンサート」	(～18日／AH)
7月31日	「日本メキシコ交流400周年記念 古代メキシコ・オルメカ文明展～マヤへの道」開催	(～9月26日／4・3階)
8月 3日	博物館実習	(～6日)
8月 6日	「古代メキシコ・オルメカ文明展」ギャラリートーク	(南／4・3階)

8月 7日	「古代メキシコ・オルメカ文明展」記念コンサート	(「三品國男&マリアッチニッポン」/ AH)
8月 7日	友の会文化講座「古代メキシコ・オルメカ文明展」	(南/ AL・AH)
8月 8日	ぶんぱく子ども教室「夏休み子ども企画『教えて考古学』」	(南/ 2階ほか)
8月 13日	「古代メキシコ・オルメカ文明展」ギャラリートーク	(南/ 4・3階)
8月 20日	「古代メキシコ・オルメカ文明展」ギャラリートーク	(南/ 4・3階)
8月 21日	歴史常設展展示解説	(南/ 2階)
8月 27日	「古代メキシコ・オルメカ文明展」ギャラリートーク	(南/ 4・3階)
8月 27日	音楽会〈20世紀の歩みと地域の拡大バルトーク 第6夜〉	(AH)
8月 28日	「古代メキシコ・オルメカ文明展」講演会	(南/ AH)
8月 29日	ぶんぱく子ども教室「博物館でアート～わたしたちのオルメカ文明展～」	(増野智紀/別館ウッドデッキ)
9月 3日	「古代メキシコ・オルメカ文明展」ギャラリートーク	(南/ 4・3階)
9月 10日	「古代メキシコ・オルメカ文明展」ギャラリートーク	(南/ 4・3階)
9月 11日	MOKの会 9月例会	(7階サロン)
9月 11日	歴史常設展展示解説	(四代目森本安之助・南/ 2階)
9月 17日	「古代メキシコ・オルメカ文明展」ギャラリートーク	(南/ 4・3階)
9月 18日	京都アートフリーマーケット2010秋	(～20日/ AHほか)
9月 22日	歴史展示室特別陳列「江戸時代の平安京研究～大内裏図考証と院宮及私第図～」	(～10月24日/ 2階)
9月 24日	「古代メキシコ・オルメカ文明展」ギャラリートーク	(南/ 4・3階)
9月 25日	歴史常設展展示解説	(植山/ 2階)
10月 9日	「ナポリ・宮廷と美 カポディモンテ美術館展 ルネサンスからバロックまで」開催	(～12月5日/ 4・3階)
10月 9日	「カポディモンテ美術館展」記念講演会	(渡辺晋輔/ AH)
10月 16日	歴史常設展展示解説	(西山/ 2階)
10月 16日	友の会文化講座「カポディモンテ美術館展」	(市川/ MH)
10月 22日	「カポディモンテ美術館展」ギャラリートーク	(市川/ 4・3階)
10月 26日	歴史展示室特別陳列「古典の日記念 源氏物語と都名所図会」	(～12月5日/ 2階)
10月 31日	「カポディモンテ美術館展」記念コンサート	(京都市交響楽団/ AH)
11月 6日	「カポディモンテ美術館展」記念講演会	(中野京子/ AH)
11月 6日	三条高倉まちかどミュージアム	(～14日)
11月 11日	MOKの会 11月例会	(7階サロン)
11月 12日	「カポディモンテ美術館展」ギャラリートーク	(市川/ 4・3階)
11月 13日	「オータムミュージアムコンサート」	(～14日/ AH)
11月 13日	ぶんぱく子ども映画ワークショップ「探検! 映画の博物館」	(森脇/ MHほか)
11月 13日	ぶんぱくの秋はイタリア色～ナポリ・カポディモンテ美術館展関連企画～	(・14日・17日/ AHほか)
11月 19日	「カポディモンテ美術館展」ギャラリートーク	(市川/ 4・3階)
11月 20日	歴史常設展展示解説	(植山/ 2階)
11月 20日	関西文化の日〈常設展入場無料〉	(・21日)
12月 1日	【リニューアル記念企画】歴史展示室「ラストトークライブ」	(藤本孝一/ 2階)
12月 2日	【リニューアル記念企画】歴史展示室「ラストトークライブ」	(野口実/ 2階)
12月 2日	【リニューアル記念企画】映像ホール「京都映画リクエスト上映」	(～5日/ MH)
12月 3日	【リニューアル記念企画】歴史展示室「ラストトークライブ」	(土橋誠・横山/ 2階)
12月 4日	【リニューアル記念企画】歴史展示室「ラストトークライブ」	(片岡肇・南・西山/ 2階)
12月 5日	【リニューアル記念企画】歴史展示室「ラストトークライブ」	(大塚活美・山田邦和・植山/ 2階)
12月 6日	本館リニューアル工事のため全館休館(～2011年7月上旬予定)	
2011年1月 8日	MOKの会 1月例会	(7階サロン)
2月 26日	友の会見学会「友の会 別館ガイドツアー」	(植山/ AHほか)
3月 26日	ぶんぱく子ども教室「春休みアニメーション制作ワークショップ」	(～26日/ 森脇/ AL)

京都文化博物館2010(平成22)年度年報

発行日 2011年10月31日

編集・発行 京都府京都文化博物館

〒604-8183 京都市中京区三条高倉

TEL：075-222-0888

FAX：075-222-0889

印刷 三星商事印刷株式会社

〒604-0093 京都市中京区新町通

竹屋町下ル弁財天町300

TEL：075-256-0961(代)